

# 目 次

## 本 編

目 次	頁
1 平成 27 年度 図書館基本方針	2
2 平成 26 年度 事業報告	
<b>施策 1</b> 蔵書の充実（収集と保存）	3
(1)平成 26 年度資料種別受入冊数	
(2)平成 26 年度図書分類別受入冊数と年度末蔵書数	
(3)平成 26 年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数	
(4)平成 26 年度リクエスト購入図書冊数	
(5)平成 26 年度受入新聞と雑誌等逐次刊行物	
(6)平成 26 年度郷土資料の製本数	
(7)平成 26 年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数	
(8)平成 26 年度視聴覚資料受入数と年度末数	
(9)寄贈資料	
(10)平成 26 年度除籍本の市民還元冊数	
<b>施策 2</b> 資料及び情報提供の充実	13
(1)図書等の貸出	
(2)南信州図書館ネットワーク	
(3)調査相談の充実	
(4)生活およびビジネス支援	
<b>施策 3</b> 利用者に応じた「よむとす」の推進	20
(1)次世代育成のための「よむとす」	
(2)分館サービスの推進	
(3)障がい者・高齢者サービスの充実	
(4)多文化サービスの推進	
(5)市民との協働	
3 平成 26 年度 主な行事等	32

## 資 料 編

1 沿 革	35
2 施 設	43
3 職 員	44
4 図書館協議会委員	45
5 利用案内	46
6 予 算	
(1) 当初予算	46
(2) 平成 26 年度 決算額一覧	47
7 図書館貴重資料など	
(1) マイクロフィルム	48
(2) デジタル資料	48
(3) 特殊コレクション	49
8 利用状況	
(1) 貸出冊数推移	52
(2) 利用者（貸出者）数推移	53
(3) 平成 26 年度 利用が多かった本ベスト 10	54
(4) 利用統計数値（サービス効果）	55
9 図書館関係団体	56

## 【平成 27年度 教育方針(理念)】

飯田市の教育は、「ムトスの心」と「結いの心」を継承し、「地育力」を向上させ、郷土に愛着と誇りを持って育ち合う、心豊かな人づくりに取り組みます。市民一人ひとりが主人公となり、人と自然が調和する文化の薫りの高いふるさとづくりの教育を推進します。

大人も子どももふるさとを慈しみ、夢をもって共に学びながら生きる力を育む教育を進めます。

## 【平成 27年度 図書館 基本方針】

〔地域の知の拠点として、市民の生涯学習を支援〕

サービス計画に掲げた次の二つを基本方針とし、各施策の実現を目指します。

### I 暮らしと仕事と地域に役立つ図書館を目指します

### II 本と人が出会い、学びが広がる図書館を目指します

施 策	施 策 の 展 開
1 蔵書の充実 (収集と保存)	(1) 図書資料
	(2) 雑誌及び新聞資料
	(3) 郷土資料
	(4) 外国語資料
	(5) その他資料
	(6) 資料の保存及び除籍
2 資料(図書、雑誌等) 及び情報提供の充実	(1) 図書等の貸出
	(2) 調査相談(レファレンス)の充実
	(3) 生活及びビジネス支援の向上
3 利用者に応じた 「よむとす」の推進	(1) 次世代育成のためのよむとす
	(2) 分館サービスの推進
	(3) 高齢者・障がい者サービスの充実
	(4) 多文化サービスの推進

## 【平成 27年度 図書館 重点事業】

- (1) 南信州図書館ネットワーク稼働から4年目を迎え、図書館システム更新に向けた検討・協議を進める。
- (2) 積極的に収集・保存している郷土資料を活かしたふるさと学習の機会を提供する。
- (3) 図書館サービス計画の改訂に向け、図書館利用アンケートを実施して利用実態や満足度を把握し、評価を行う。
- (4) 高齢者の図書館利用促進に向けて、サービスの検討を進める。
- (5) 地元企業やキャリア教育に関する情報の収集と活用を進める。

施策1 蔵書の充実(収集と保存)

利用者の要求に対し迅速に応じられるように、出版情報や地域情報を収集して図書等を購入した。さらに、調査相談の記録を見て足りない分野の図書を購入した他、事典類を新版に買換えた。法規類は利用しやすいように、貸出できる図書の購入をすすめた。児童書は長年読み継がれている図書の買換えを行ったことにより貸出促進につながった。

郷土資料においては、収集を呼びかけるチラシを作成し関係部署や伊那谷研究団体協議会へ配布し、網羅的収集に努めた。また庁内へ各課の発行資料・所有資料調査を行い、目録を作成した。

外国語図書は利用に応じて中国語・英語の本を購入した他、辞書類も補充した。外国籍市民の減少に伴い利用は減っているが、ベトナム出身者が増加傾向にあるためベトナム語図書の充実を図った。

分館では来館者の要求を大事にし、利用に応じた本を購入した。

(1)平成26年度資料種別受入冊数

①中央図書館

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ヤングアダルト	児童書 <small>紙芝居含む</small>	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
6,627	1,376	619	1,887	51	2,778	107	91	13,536
48.96%	10.17%	4.57%	13.94%	0.38%	20.52%	0.79%	0.67%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
11,050	1,875	611
81.63%	13.85%	4.51%

②県図書館

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ヤングアダルト	児童書 <small>紙芝居含む</small>	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
1,308	63	181	795	0	816	1	0	3,164
41.34%	1.99%	5.72%	25.13%	0.00%	25.79%	0.03%	0.00%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
2,942	149	73
92.98%	4.71%	2.31%

③上郷図書館

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ティーンズ	児童書 <small>紙芝居含む</small>	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
2,389	198	578	1,954	10	1,094	68	0	6,291
37.97%	3.15%	9.19%	31.06%	0.16%	17.39%	1.08%	0.00%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
5,602	331	358
89.05%	5.26%	5.69%

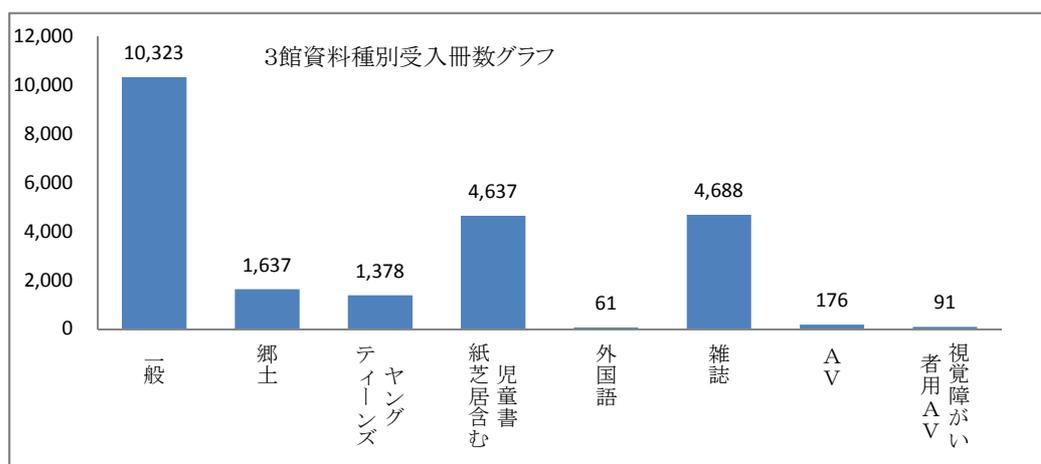
④3館合計

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ヤング ティーンズ	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
10,323	1,637	1,378	4,637	61	4,688	176	91	22,991
44.90%	7.12%	5.99%	20.17%	0.27%	20.39%	0.77%	0.40%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
19,594	2,355	1,042
85.22%	10.24%	4.53%



(2)平成26年度図書分類別受入冊数と年度末蔵書数

①中央図書館 一般書

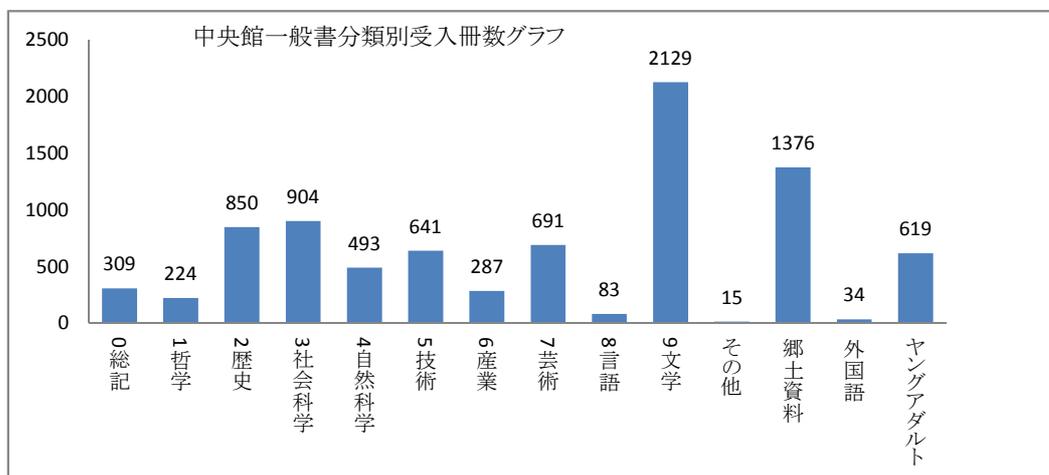
ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
309	224	850	904	493	641	287	691	83
3.57%	2.59%	9.82%	10.44%	5.70%	7.41%	3.32%	7.98%	0.96%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
2,129	15	1,376	34	619	8,655	104	873	26
24.60%	0.17%	15.90%	0.39%	7.15%	100.00%	1.20%	10.09%	0.30%

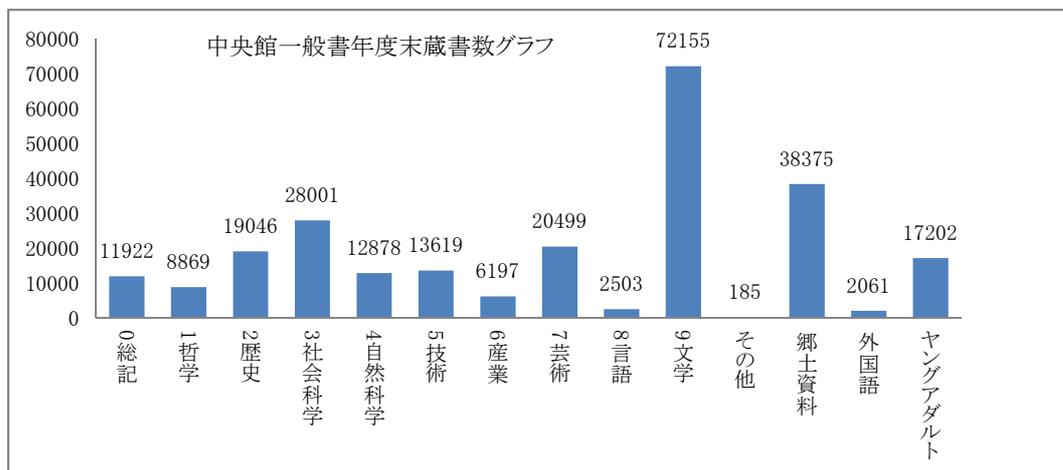


イ 年度末蔵書数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
11,922	8,869	19,046	28,001	12,878	13,619	6,197	20,499	2,503
4.70%	3.50%	7.51%	11.05%	5.08%	5.37%	2.44%	8.09%	0.99%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
72,155	185	38,375	2,061	17,202	253,512	2,649	16,090	821
28.46%	0.07%	15.14%	0.81%	6.79%	100.00%	1.04%	6.35%	0.32%



② 県図書館 一般書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
46	45	171	108	76	113	27	65	9
2.96%	2.90%	11.02%	6.96%	4.90%	7.28%	1.74%	4.19%	0.58%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
631	17	63	0	181	1,552	1	323	0
40.66%	1.10%	4.06%	0.00%	11.66%	100.00%	0.06%	20.81%	0.00%

イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
1,000	608	1,941	2,039	1,439	2,791	564	2,005	277
3.20%	1.94%	6.20%	6.52%	4.60%	8.92%	1.80%	6.41%	0.89%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
11,828	40	3,557	0	3,198	31,287	86	3,722	84
37.80%	0.13%	11.37%	0.00%	10.22%	100.00%	0.27%	11.90%	0.27%

③ 上郷図書館 一般書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
90	71	328	301	183	247	68	177	31
3.18%	2.51%	11.60%	10.64%	6.47%	8.73%	2.40%	6.26%	1.10%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ティーンズ	計	参考図書	文庫	大活字本
891	2	198	0	241	2,828	2	423	28
31.51%	0.07%	7.00%	0.00%	8.52%	100.00%	0.07%	14.96%	0.99%

イ 年度末蔵書数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
3,439	2,506	7,135	10,565	5,212	7,134	2,106	9,181	1,820
3.38%	2.46%	7.01%	10.38%	5.12%	7.01%	2.07%	9.02%	1.79%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ティーンズ	計	参考図書	文庫	大活字本
34,750	8	8,584	87	9,272	101,799	524	12,359	1019
34.14%	0.01%	8.43%	0.09%	9.11%	100.00%	0.51%	12.14%	1.00%

④3館合計 一般書

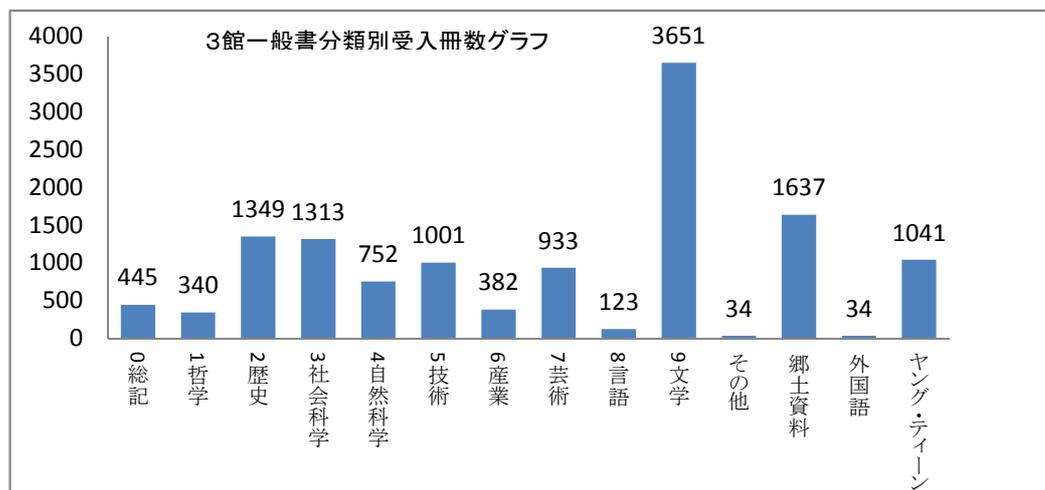
ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
445	340	1,349	1,313	752	1,001	382	933	123
3.41%	2.61%	10.35%	10.07%	5.77%	7.68%	2.93%	7.16%	0.94%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤング・ティーン	計	参考図書	文庫	大活字本
3,651	34	1,637	34	1,041	13,035	107	1,269	54
28.01%	0.26%	12.56%	0.26%	7.99%	100.00%	0.82%	9.74%	0.41%



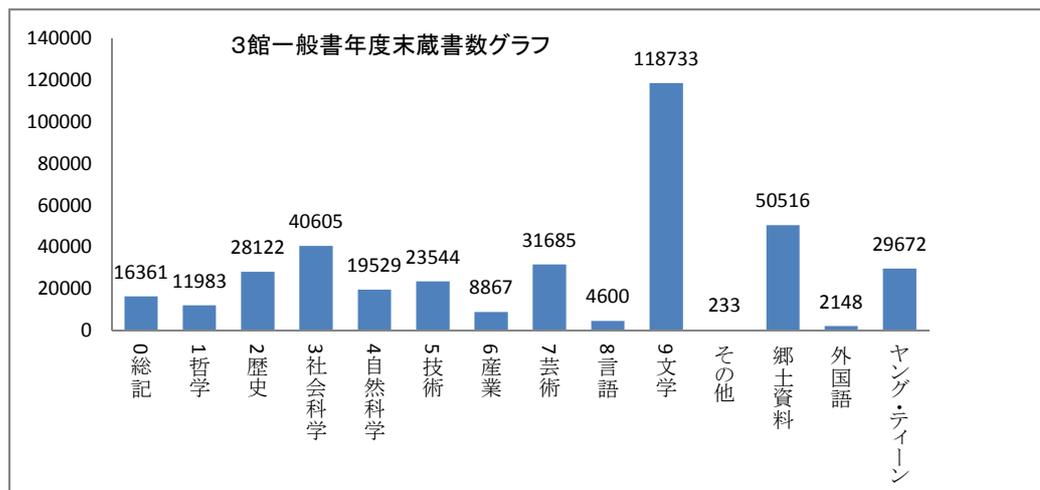
イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
16,361	11,983	28,122	40,605	19,529	23,544	8,867	31,685	4,600
4.23%	3.10%	7.27%	10.50%	5.05%	6.09%	2.29%	8.20%	1.19%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤング・ティーン	計	参考図書	文庫	大活字本
118,733	233	50,516	2,148	29,672	386,598	3,259	32,171	1,924
30.71%	0.06%	13.07%	0.56%	7.68%	100.00%	0.84%	8.32%	0.50%



⑤中央図書館 児童書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
17	9	74	69	226	96	37	128	17
0.89%	0.47%	3.88%	3.62%	11.86%	5.04%	1.94%	6.72%	0.89%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
370	790	55	17	1,905
19.42%	41.47%	2.89%	0.89%	100.00%

イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
777	336	2,537	2,645	7,647	1,934	1,068	3,368	555
1.08%	0.47%	3.54%	3.69%	10.67%	2.70%	1.49%	4.70%	0.77%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
21,409	27,058	1,787	531	71,652
29.88%	37.76%	2.49%	0.74%	100.00%

⑥県図書館 児童書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
16	5	20	17	79	36	11	37	4
2.01%	0.63%	2.52%	2.14%	9.94%	4.53%	1.38%	4.65%	0.50%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
163	402	5	0	795
20.50%	50.57%	0.63%	0.00%	100.00%

イ 年度末蔵書数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
352	102	647	694	2,072	706	333	1,177	207
1.50%	0.43%	2.75%	2.95%	8.81%	3.00%	1.42%	5.01%	0.88%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
5,925	10,560	720	11	23,506
25.21%	44.92%	3.06%	0.05%	100.00%

⑦上郷図書館 児童書

ア 分類別受入冊数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
17	2	16	66	168	68	26	70	9
0.74%	0.09%	0.70%	2.87%	7.30%	2.96%	1.13%	3.04%	0.39%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
393	1,083	36	10	337	2,301
17.08%	47.07%	1.56%	0.43%	14.65%	100.00%

イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
699	120	575	1,660	3,720	1,320	728	1,894	417
1.15%	0.20%	0.95%	2.73%	6.12%	2.17%	1.20%	3.12%	0.69%

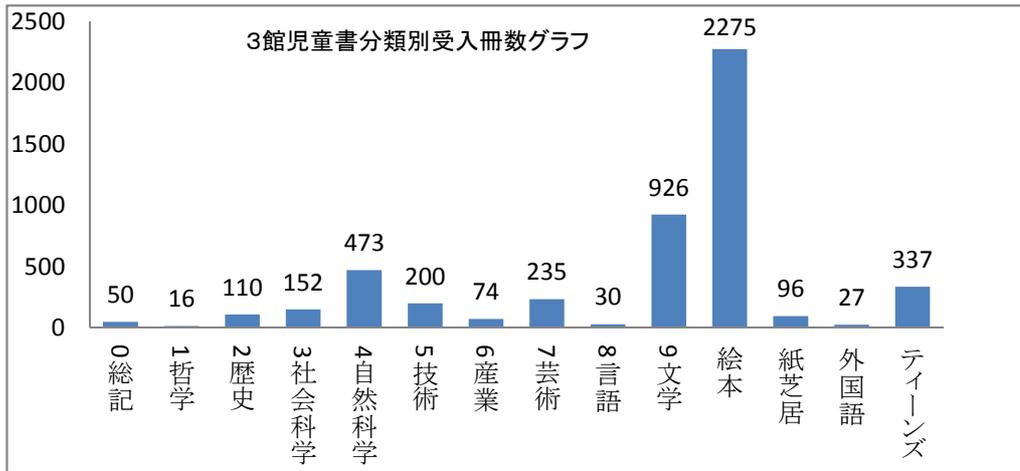
9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
12,839	25,172	2,015	1,037	8,566	60,762
21.13%	41.43%	3.32%	1.71%	14.10%	100.00%

⑧3館合計 児童書

ア 分類別受入冊数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
50	16	110	152	473	200	74	235	30
1.00%	0.32%	2.20%	3.04%	9.46%	4.00%	1.48%	4.70%	0.60%

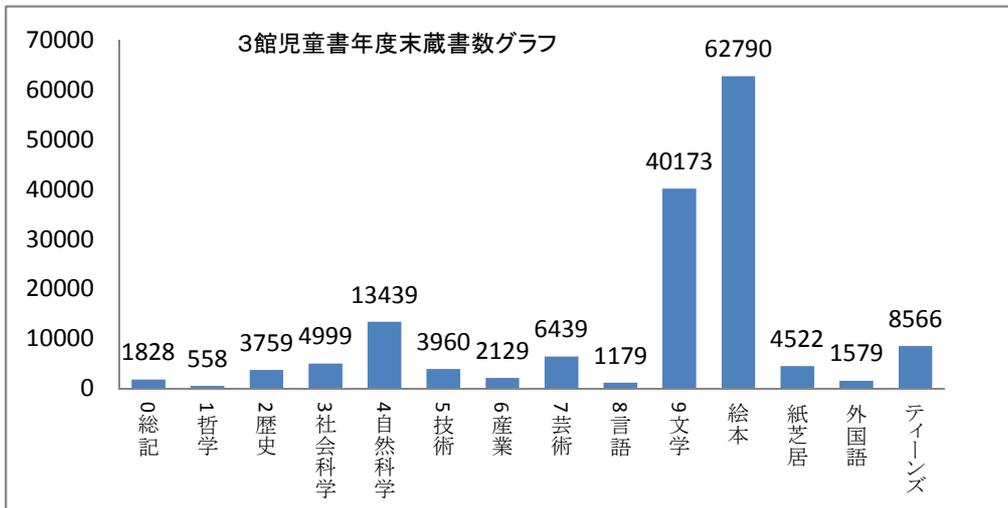
9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
926	2,275	96	27	337	5,001
18.52%	45.49%	1.92%	0.54%	6.74%	100.00%



イ 年度末蔵書数

0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語
1,828	558	3,759	4,999	13,439	3,960	2,129	6,439	1,179
1.17%	0.36%	2.41%	3.21%	8.62%	2.54%	1.37%	4.13%	0.76%

9 文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
40,173	62,790	4,522	1,579	8,566	155,920
25.77%	40.27%	2.90%	1.01%	5.49%	100.00%



(3) 平成26年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数

館名	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代 (内千栄)	龍江	竜丘
受入冊数	407	359	466	324	539	569	325	486	319	693
うち子どもの本	97	129	125	60	224	266	109	158	137	224
除籍冊数	618	371	280	451	340	68	326	306	87	265
うち子どもの本	167	154	130	64	54	11	98	9	14	31
保管換等による増減	47	△ 96	30	△ 81	△ 145	29	△ 144	△ 168	△ 50	45
蔵書冊数	10,208	10,836	11,014	8,442	18,233	11,154	9,100	13,088 (2,558)	10,458	17,222
うち子どもの本	6,021	6,124	6,611	4,821	11,709	7,478	5,663	8,466 (1,968)	7,399	9,926

館名	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	県	上郷	中央	合計
受入冊数	350	390	430	739	313	355	3,164	6,291	13,536	30,055
うち子どもの本	108	144	157	310	126	101	795	2,301	1,905	7,476
除籍冊数	66	3	263	324	69	0	1,871	2,868	6,066	14,642
うち子どもの本	2	3	19	104	0	0	284	585	714	2,443
保管換等による増減	△ 7	55	△ 70	△ 8	△ 14	116	△ 111	△ 36	△ 67	△ 675
蔵書冊数	10,897	10,708	11,881	23,404	6,210	7,849	58,449	171,158	349,798	770,109
うち子どもの本	7,248	6,934	7,908	13,518	3,567	4,150	23,506	60,762	71,652	273,463

(4)平成26年度リクエスト購入図書冊数

受入館	中央	県	上郷	分館合計	合計
リクエスト購入冊数	1,685	396	350	613	3,044
(割合)	(15.2%)	(13.5%)	(6.2%)	(12.3%)	(12.4%)
購入図書冊数	11,050	2,942	5,602	4,976	24,570

(5)平成26年度 受入新聞と雑誌等逐次刊行物(詳細はホームページで公開)

	中央	県	上郷
新聞継続受入数	24 紙	7紙	10 紙
雑誌継続受入数	218 誌	61 誌	82 誌

\*詳細は図書館、または図書館ホームページでご確認ください。

平成26年度 新規受入雑誌・新聞

- 中央 「Como」(生活)、「サッカーダイジェスト」(スポーツ)、「日経PC21」(コンピューター)  
「美的」(美容)、「クーリエ・ジャポン」(ビジネス)、「mina(ミーナ)」(ヤング)、「ニコラ」  
(婦人雑誌)、「月刊社会民主」(政治)
- 県 新規購入雑誌・新聞なし
- 上郷 「野菜だより」(農業)、「橋」(郷土)



(6)平成26年度 郷土資料の製本数

複製版製本	29 冊
修理製本	6 冊

(7)平成26年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数

		英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
26年度 受入数	中央	21	24	1	0	0	5	0	51
	県	0	0	0	0	0	0	0	0
	上郷	10	0	0	0	0	0	0	10
	合計	31	24	1	0	0	5	0	61
26年度 末蔵書 冊数	中央	1184	1,037	77	8	3	282	7	2598
	県	9	0	0	0	0	2	0	11
	上郷	1,017	9	9	46	17	26	41	1165
	合計	2,210	1,046	86	54	20	310	47	3814

その他…イタリア語・ロシア語・タガログ語

(8)平成 26 年度視聴覚資料受入数と年度末数

		紙芝居	ビデオ	DVD	マイクロ フィルム	CD	カセット
26 年度 受入数	中央	55	0	77	0	28	2
	鼎	5	0	0	0	1	0
	上郷	36	0	2	0	64	2
	合計	96	0	79	0	93	4
26 年度 末数	中央	1,787	183	388	947	207	52
	鼎	720	1	47	0	10	4
	上郷	2,015	8	45	0	473	1,002
	合計	4,522	192	480	947	690	1,058

(9) 寄贈資料

平成 26 年度 寄贈資料数

館	中央	鼎	上郷	分館	合計
冊数	1,875	149	331	780	3,135

主な寄贈資料

- ① 市民関係団体、研究者、各課館所の研究成果等の郷土資料



「伊那谷の自然と文化」の学習・研究活動を支援するために、チラシを作成し計画的に寄贈の呼びかけを行った。平成 26 年度は、飯田市美術博物館の古文書講座作成の目録「金田家文書」や伊那谷地名研究会作成の川路・上郷・上村地区の小字図・小字の由来・小字の表、千代の歴史を語る会作成の「千代の人物伝シリーズ」、北方古老に聞く会作成の『奉納額にみる地相撲北方の力士たち』などをそれぞれ関係団体の方から寄贈していただいた。郷土資料の寄贈受入冊数は平成 25 年度に比べ 25%増加した。

- ②長野県建築士事務所協会飯伊支部・長野県建築士会飯伊支部 寄贈資料

毎年 10 万円ずつ青少年健全育成のためにとご寄贈いただき、平成 26 年度で 15 回目となった。子どもたちが興味深く楽しく調べることができるように『親子でつくる自然エネルギー工作』全4巻、『平和学習に役立つ戦跡ガイド』全3巻、などを購入した。これまでの累計は 419 冊(150 万円)になった。



(10)平成 26 年度 除籍本の市民還元冊数

館	中央	鼎	上郷	合計
冊数	9,702	1,552	1,971	13,225
提供日	随時	毎週土曜日	毎月第4土曜日	

## 施策2 資料及び情報提供の充実

### (1) 図書等の貸出

利用の統計からは、中高生から40代までの利用が減少、50代以上が増加している傾向がみられる。幅広い年代の利用の促進を図るため、様々なジャンルのテーマ展示や講座、「よむとす」の本の紹介等の情報発信をおこない、市民の興味を引き出すような情報提供に努めた。

予約数は昨年度並みであるが、インターネットからの予約が増える傾向が続いている。

#### ①平成26年度 館別利用状況（15、16 ページ資料）

#### ②平成26年度来館者数(中央図書館のみ) 168,910人（対25年度比102.0%）

10月25日、中央図書館入館者が10万人となり、記念セレモニーを挙行、10万人目の方と前後の方に記念品を贈呈した。

#### ③登録者数

##### ア 平成26年度新規登録者数

	中央	鼎	上郷	合計
個人(子ども)	502	142	177	821
(大人)	1,328	105	253	1,686
団体	46	3	13	62
合計	1,876	250	443	2,569

##### イ 飯田市在住者登録者数・平成26年度内に利用した登録者数（個人）

	中央	鼎	上郷	合計
登録者数(累計)	17,203	2,974	4,933	25,110
内飯田市在住者登録数	14,887	2,858	4,392	22,137(88.1%)
有効登録者数(平成26年度に利用した登録者数)	9,278	1,847	2,782	13,907(55.3%)

#### ④相互貸借

	中央	鼎	上郷	計	H25	前年比
貸出冊数	529	35	84	648	748	86.6%
借受冊数	530	71	50	651	843	77.2%

※借受減少は、購入できる図書はできるだけ購入してリクエストに対応したため。

⑤予約数

		中央	県	上郷	分館	計	H25	前年比
予約総件数		23,901	10,336	10,266	4,650	49,153	49,751	98.7%
個人	WEB	10,680	5,869	4,967	—	21,516	19,437	110.6%
	OPAC	2,430	446	2,041	—	4,917	5,962	82.4%
	窓口ほか	9,719	3,525	3,065	—	16,309	18,003	90.5%
団体	窓口ほか	1,072	496	193	—	1,761	2,523	69.7%

⑥テーマ本の展示

	中央	県	上郷	計
資料展示件数	74	37	37	148

中央 「白山神社探訪記」「広報いいだ 1000号」「映画の原作を読もう」作家追悼特集 等  
 県 「その一行に腹が減る」「語り継ぐ満州」「あんな仕事こんな仕事」「年中行事としきたり」等  
 上郷 「山に登る・山に生きる」「畑仕事・庭仕事」「北原痴山」「リニア時代に伝えたい記憶と経験」等



「飯田の地名と白山信仰」 中央図書館



「菱田春草生誕140年」 中央図書館



「飯田下伊那の年中行事  
 ~暮れからお正月まで~」 中央図書館



「本キャンペーン」 県図書館

①-1 平成26年度 館別利用状況

(単位:人・冊)

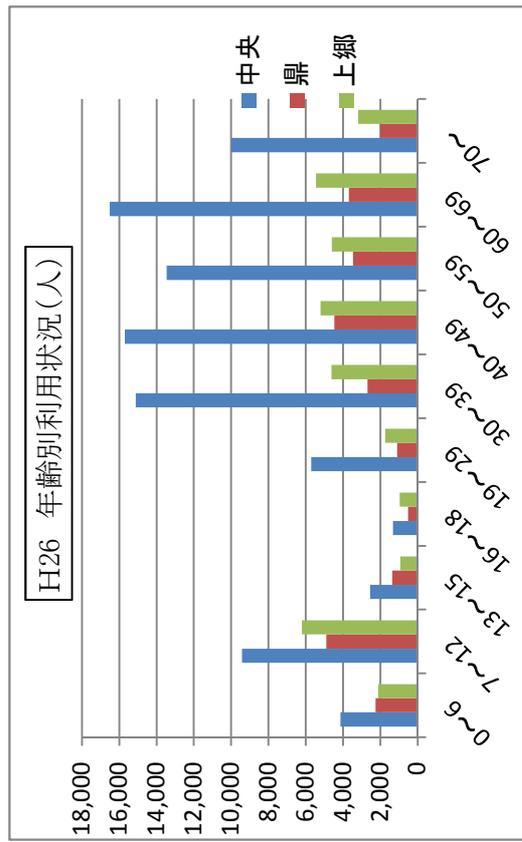
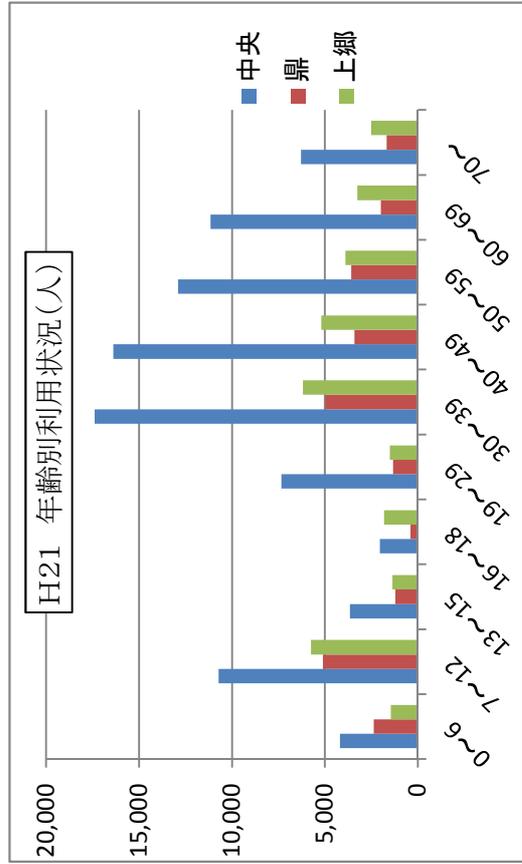
	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	分館計	中央	県	上郷	合計	
こども	200	50	84	100	542	241	81	98	78	386	88	85	181	856	10	54	3,134	3,509	1,294	1,397	9,334	
大人	153	61	82	61	224	177	36	77	74	289	87	70	112	426	24	37	1,990	13,694	1,680	3,536	20,900	
団体	1	0	1	0	13	9	10	6	10	1	7	12	1	14	1	2	88	324	76	132	620	
計	354	111	167	161	779	427	127	181	162	676	182	167	294	1,296	35	93	5,212	17,527	3,050	5,065	30,854	
こども	2,063	274	1,008	953	2,667	2,077	269	1,367	710	3,559	1,266	2,604	1,399	5,885	49	458	26,608	16,127	8,512	9,257	60,504	
大人	1,938	496	1,134	786	1,963	1,486	267	854	743	3,074	1,310	817	1,068	3,355	441	341	20,073	77,808	17,930	25,766	141,577	
団体	1	0	1	0	95	54	9	10	158	28	19	83	246	159	20	5	888	1,863	732	1,086	4,569	
計	4,002	770	2,143	1,739	4,725	3,617	545	2,231	1,611	6,661	2,595	3,504	2,713	9,399	510	804	47,569	95,798	27,174	36,109	206,650	
こども	5,358	774	3,038	3,281	8,372	6,126	646	3,356	2,421	13,093	3,302	5,715	4,918	19,743	105	1,651	81,899	87,290	39,740	41,411	250,340	
大人	4,230	1,395	3,648	2,173	6,428	4,025	619	1,964	2,126	11,414	3,132	2,223	3,276	10,894	993	1,086	59,626	301,458	68,185	90,787	520,056	
団体	10	0	20	0	2,045	417	1,148	385	2,681	785	700	1,687	2,663	2,049	437	273	15,300	13,385	7,669	11,642	47,996	
計	9,598	2,169	6,706	5,454	16,845	10,568	2,413	5,705	7,228	25,292	7,134	9,625	10,857	32,686	1,535	3,010	156,825	402,133	115,594	143,840	818,392	
	登録者 (人)				利用者 (人)				貸出冊数 (冊)													

①-2 平成26年度 年齢別利用状況(利用者数)

	0～6	7～12	13～15	児童計	16～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	一般計	合計
中央	4,145	9,424	2,558	16,127	1,325	5,716	15,108	15,703	13,460	16,512	9,984	77,808	93,935
県	2,266	4,893	1,353	8,512	513	1,100	2,688	4,474	3,463	3,685	2,007	17,930	26,442
上郷	2,126	6,201	930	9,257	955	1,746	4,625	5,203	4,598	5,447	3,192	25,766	35,023
3館計 (a)	8,537	20,518	4,841	33,896	2,793	8,562	22,421	25,380	21,521	25,644	15,183	121,504	155,400
年齢別人口 (H27.3) (b)	6,231	5,787	3,198	15,216	3,026	9,980	11,567	13,281	12,537	14,746	23,931	89,068	104,284
利用者数(a) / 人口 (b)	1.4	3.5	1.5	2.2	0.9	0.9	1.9	1.9	1.7	1.7	0.6	1.4	1.5

平成21年度 年齢別利用状況(利用者数)

	0～6	7～12	13～15	児童計	16～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	一般計	合計
中央	4,198	10,712	3,661	18,571	2,046	7,350	17,382	16,383	12,901	11,146	6,277	73,485	92,056
県	2,374	5,115	1,205	8,694	400	1,337	4,994	3,402	3,575	1,988	1,679	17,375	26,069
上郷	1,454	5,741	1,372	8,567	1,816	1,508	6,183	5,191	3,900	3,248	2,510	24,356	32,923
3館計 (a)	8,026	21,568	6,238	35,832	4,262	10,195	28,559	24,976	20,376	16,382	10,466	115,216	151,048
年齢別人口 (H22.3) (b)	6,898	6,390	3,247	16,535	3,219	11,319	13,784	12,577	14,305	14,439	22,561	92,204	108,739
利用者数(a) / 人口 (b)	1.2	3.4	1.9	2.2	1.3	0.9	2.1	2.0	1.4	1.1	0.5	1.2	1.4



## (2) 南信州図書館ネットワーク

飯田市・松川町・高森町の3市町での南信州図書館ネットワークに、平成26年7月から豊丘村が参入し、4市町村での運用が始まった。分館も含めて、蔵書の相互利用が定着してきており、順調に運用されている。

南信州図書館ネットワーク内自治体間貸出・借受

※23年7月ネットワーク稼働、26年7月豊丘村加入

( )は4市町内での割合

	飯田市			松川町			高森町			豊丘村
	24年度	25年度	26年度	24年度	25年度	26年度	24年度	25年度	26年度	26年度 26.7-27.3
貸出 冊数	6,692 (37%)	7,947 (41%)	11,170 (42%)	3,541 (20%)	4,009 (20%)	8,161 (31%)	7,859 (43%)	7,665 (39%)	3,821 (14%)	3,556 (13%)
借受 冊数	9,939 (55%)	10,209 (52%)	12,279 (46%)	4,786 (27%)	5,718 (29%)	4,744 (18%)	3,367 (18%)	3,694 (19%)	6,896 (26%)	2,789 (10%)

## (3) 調査相談の充実

図書館を利用する方々は様々な課題を解決すべく本や情報を求めて来館されているが、その内容は年々多様化してきている。

地元新聞をパソコンにより閲覧できる「新聞閲覧システム」や国立国会図書館の「図書館等向けデジタル資料送信サービス」を利用する方も増えている。11月からは信濃毎日新聞のWEB版が中央図書館の館内パソコンで閲覧できるようになり、これまで記事検索は昭和までの新聞のみ可能であったものが平成も可能となった。有料データベース「Gサーチ」検索による情報提供数も増加している。

### ①レファレンス(調査相談)サービス件数

	中央	県	上郷	合計	H25
レファレンス総件数	2,456	348	734	3,538	3,328
うち口頭	2,118	326	701	3,145	2,927
うち電話	312	21	33	366	364
うちメール・文書	26	1	0	27	37

### ②複写サービス

#### ア 館内資料

	中央	県	上郷	合計	H25
件数	2,235	114	374	2,723	2,930
枚数	17,924	435	1,815	20,174	21,449

#### イ 他館資料(複写取り寄せ)

	中央	県	上郷	合計	H25
件数	95	0	1	96	27

③インターネットによる情報サービス

ア 図書館ホームページアクセス数  
66,279 件 (H25 68,950 件)

イ「よむとす～こんな本いかが～」の掲載

図書館職員による、図書館所蔵のおすすめ本の紹介をしている。月 2 回の更新。

ホームページでの紹介と合わせ地元新聞へも掲載し、情報発信を行っている。掲載本の予約が増加したり、感想を伝えてくれる利用者がみられるなど、反応が増加している。



④新聞閲覧システム等

デジタル化した郷土新聞の利用が増加している。特に南信州、信州日報の記事検索の利用が多い。

	新聞閲覧	新聞閲覧システム 信毎データベース	国会図書館デジタル送信	官報情報検索
件数	391	138	119	4

⑤パスファインダー・郷土資料リスト作成

本のさがしかたや調べ方案内、実際に使えると思われる本や情報などを紹介してわかりやすくまとめた「パスファインダー」を作成したり、おたずねの頻度の高い郷土図書等をリストにして書架に案内を設けている。

平成 26 年度作成数

・児童パスファインダー 新規作成 0 件 更新 3 件 累計 25 件

更新テーマ
「りんご」 「水引・和紙・菓子」 「点字」

・郷土資料リスト 新規作成 8 件 更新 3 件 累計 39 件

新規作成リスト
「追手町小学校」 「代田稔」 「後藤三右衛門」 「北一明」
「赤門」 「松川入」 「長姫高校野球部優勝」 「遠山常民大学」
更新リスト
「喜久水・酒」 「りんご並木」 「大平宿・大平街道」

#### (4)生活およびビジネス支援

暮らしと仕事に役立つ図書館として、社会・経済・産業分野を中心に資料充実を図っている。初めての取り組みとして、地元の建築関連団体の協力を得て、「家づくり」に関する展示を行った。また併せて、子どもたちに職人の仕事を体験してもらうための講座を行い、多くの親子参加者があった。

##### ①社会・経済・産業分野の蔵書数

26年度末蔵書冊数 48,552 冊

##### ②中央図書館中二階テーマ展示 12回

・暮らしと仕事に役立つテーマで、本の展示を行っている。

テーマの例 「消費税 8%に！家計と税金の本」「はじめよう！様々な活動」  
「いつまでも仲睦まじく夫婦・家族」等

##### ③講座

ア「この技がすごい！暮らしを支える家づくり」

建築士事務所協会飯伊支部と連携し、建築の仕事について展示を行った。併せて建築関連の諸団体の協力を経て、主に児童向けの職人体験講座を実施した。

- ・展示 7月26日(土)～ 8月17日(日)
- ・体験講座「ぼくも私も職人さん」 8月2日3日 参加者 178名  
左官(壁塗り・泥だんご)・大工(道具箱づくり・かんな)・木のジャングルジム

イ 朗読駅伝「柿ものがたり」平成26年12月14日(日) 参加者28人

小山菜穂子さん(元SBCアナウンサー)を招き、「柿」が出てくる物語の朗読を聴く会を行った。

小山さんの朗読、市民の方による琴の演奏に続き、市民の方が駅伝形式で朗読・読み聞かせを行い、図書館職員がブックトークを行った。



体験講座「ぼくも私も職人さん」



朗読駅伝「柿ものがたり」

### 施策3 利用者に応じた「よむとす」の推進

#### (1)次世代育成のための「よむとす」

飯田市の教育が目指す『地育力による、心豊かなひとづくり』を実現するため、図書館では次世代を担う子どもの読書推進に重点的に取り組んでいる。またすべての市民に読書の喜びを知ってもらうため、本と親しむ機会を提供している。

「わが家の結いタイム」に掲げている「親子で読書・読みきかせ」を体現してもらうための親子向け絵本講座や各種行事、子どもたちに継続して来館してもらえるような企画を実施し、図書館利用促進と家庭読書の習慣化を図った。

#### ①はじめまして絵本事業

実施会場： 鼎保健センター・松尾公民館・伊賀良公民館

内 容： 7ヶ月児相談・・・絵本の紹介・絵本の話・絵本の読みきかせ・わらべうた・絵本の配布  
2歳児相談・・・絵本の読みきかせ・わらべうた・絵本の話

#### 【26年度 7ヶ月児及び2歳児相談受診人数と受診率】

7ヶ月児相談	2歳児相談
864人(98.5%)	842人(94.2%)

平成25年度実施した「はじめまして絵本」事業についてのアンケート結果から、本事業の効果と継続の必要性が実証された。しかし課題等も残されたため、平成26年度は職員の資質向上に向けた研修を実施した。



2歳児相談（鼎保健センター）



上郷図書館えほんの会

②読みきかせサービス等

	内 容	件数(回)	人数(人)
中央 鼎 上郷	お楽しみ会・おはなし会・行事等	193	3,083
	講座(こどもの本の会・えほんの会)	20	196
	幼・保育園 読みきかせ	150	3,551
	小学校・児童館 読みきかせ	6	100
	高校での絵本講座(下農)	1	22
	美博まつり	2	144
	育児サークル・乳幼児学級等	30	590
3 館	小計	402	7,686
分館	行事等	532	9,196
	合 計	934	16,882

「親子で読書・読みきかせ」の取り組みのひとつとして、上郷図書館で父親への親子読書推進の講座をおこなった。父子で読みきかせを楽しむ姿がみられた。

○パパ's 絵本プロジェクト伊那「絵本ライブ」

9月7日(土)午前 10:30～11:30 参加者 52人  
伊那のお父さんたちの読みきかせグループによるおはなし会で、男性ならではの読みきかせを楽しんだ。

○「ねえ、おとうさん おはなしして」

10月18日(土)午後 13:30～14:20 参加者 13人  
たくさんの絵本の紹介とともに、親子で絵本を楽しむコツについての講座をおこなった。



「ねえ、おとうさん おはなしして」  
上郷図書館



こわいおはなし会 中央図書館



琴りんてんしゃん 鼎図書館

③リスト作成

子どもたちにおすすめの本のリストを作成し普及に努めてきたが、平成 25 年度より検討を進めてきた「童話の旅」(小学 5・6 年生頃に出会いたい童話のリスト)が 3 月に完成し配布を始めた。今後は読書推進につながるようなリストの活用を目指す。

#### ④読みきかせボランティアへの支援

・読みきかせボランティアの会では、年数回のグループ代表者会と年1回の研修会を通じ、グループ間の交流や会員の育成を行っている。26年度は図書館職員が講師となり、読みきかせの選書やプログラム構成についての研修会を実施した。

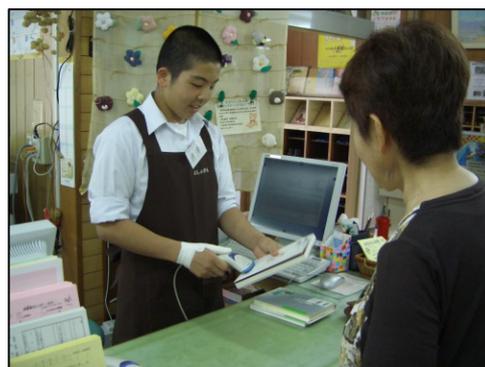
【研修会】10月24日(金) 19時～20時30分 参加者 55名

10月25日(土) 10時15分～11時30分 参加者 41名

・学校読みきかせボランティアへの支援の一つとして、今年度の研修会には飯田市内の小・中学校で行われている学校読みきかせボランティアの方々にも声をかけたところ、2日合わせて31名の参加があった。27年度の研修会にも参加を呼び掛ける予定である。

#### ⑤図書館体験プログラム

各種プログラムの体験を通じて、図書館や資料により親しんでもらい、読書を楽しみ、生涯にわたる図書館利用の基礎をつくることを目的に、図書館体験プログラムを推進した。



中学生の図書館業務体験

#### 平成26年度 実績数

(単位:人)

プログラム名	中央		県		上郷		合計	
	件数	延べ人日	件数	延べ人日	件数	延べ人日	件数	延べ人日
図書館業務体験	14	61	5	14	10	42	29	117
図書館利用体験	12	438	17	520	10	334	39	1292
特殊資料ミニ講座	2	15	0	0	0	0	2	15
子どもの本ミニ講座	1	6	0	0	0	0	1	6
合計	29	520	22	534	20	376	71	1430

#### ⑥文章講座

読むことを深めるために、書くことの勉強会として始まった文章講座は、昭和57年1月に第1期が開講して以来、年を重ねて平成26年度には第32期を迎えた。

第1期～15期は小原謙一氏が、第16期～30期は清水貫司氏が講師を務め、第31期からは鎌倉貞男氏を新たに講師に迎えて開講した。

平成26年度は5月からの第32期の講座をおこなった。

・第32期 平成26年5月～平成27年3月 会場:上郷図書館

講師:鎌倉 貞男 先生

受講者:10名 修了者:6名

## (2)分館サービスの推進

平成26年度、丸山・下久堅・上久堅・千代の4公民館の耐震強度工事・改築工事が行われたため、それに伴い分館の施設整備を重点的に進めた。

各館ごとの事業では公民館や地区との共催事業、学校や幼・保育園との連携などを中心に、地域に密着した図書館活動を行った。季節にあったおたのしみ会(七夕、クリスマス、かるた会等)を行ったり、小・中学生に人形劇をお願いするなど、各館ごと創意工夫がされた行事を行い、利用促進を図った。また、26度より蔵書点検を開始し、3年間で16分館1分室の点検を行う予定である。26年度は分館整備のあった4分館と羽場分館、松尾分館、千栄分室を行った。

### ①中央館から分館への貸出冊数

	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	計
H22	394	37	245	364	362	727	254	293	359	237	81	333	1,161	602	117	36	5,602
H23	315	86	336	324	459	602	181	373	518	239	42	258	1,009	624	28	49	5,443
H24	407	104	269	408	455	535	186	201	784	451	129	306	664	683	69	42	5,693
H25	341	95	315	345	277	616	235	322	471	393	276	374	800	522	70	101	5,553
H26	378	34	365	290	374	582	50	312	334	422	288	351	536	603	158	42	5,119
うちWEB予約	276	41	192	229	209	369	47	17	207	295	184	208	235	248	44	7	2,808

### ②各館ごとの事業

分館名	日付	内 容	人数	計	係会等	その他	
					回数		
羽 場	4/19	子ども読書の日	よみきかせ、紙芝居	13	626	7	
	5/14~10/15	乳幼児学級〔共〕	よみきかせ、図書館案内	80			
	8/9	人形劇フェスタ〔共〕	前座としてよみきかせ、図書館PR	60			
	7/23~8/9	いいもの作ろう①	ストローとんぼを作ってとぼそう(計5回)	62			
	8/30~9/27	おたのしみクイズ月間	クロスワードパズルに挑戦	98			
	11/1,2	文化祭〔共〕	古本市、文字さがし、特別開館	184			
	12/6	クリスマス会〔共〕	清水智先生のギターコンサート	65			
	1/13~2/14	いいもの作ろう②	ケーキの形の小物入れ(計5回)	64			
丸 山	4/19	子ども読書の日	よみきかせ、紙芝居、工作(ストローロケット)	18	462	7	
	5/15,22	乳幼児学級〔共〕	紹介、分館の見学、新規登録、よみきかせ	40			
	11/15,16	文化祭〔共〕	よみきかせ、紙芝居	30			
	12/6	クリスマス会	よみきかせ、クリスマスリース作り	42			子ども29人、大人13人
	年7回	丸山保育園〔共〕	絵本の会よみきかせ	350			7回×50人
東 野	5/10	子ども読書の日	よみきかせ、工作	15	713	6	
	7/5	たなばた会	よみきかせ、飾りづくり	43			
	10/18	秋のおたのしみ会	動物園の方のお話、よみきかせ	25			
	12/13	クリスマス会	人形劇団あかね、よみきかせ、清水先生コンサート	42			
	1/18	かるた会〔共〕	カルタ、よみきかせ	20			
	9月~3月	0歳児学級〔共〕	開講式、本の案内、手遊び、よみきかせ	238			月2回×7ヶ月×17組
	5月~3月	1歳児学級〔共〕	開講式、本の案内、手遊び、よみきかせ	176			月2回×11ヶ月×8組
	5月~3月	3歳児学級〔共〕	開講式、本の案内、手遊び、よみきかせ	154			月2回×11ヶ月×7組

分館名					係会等	その他	
座光寺	4/19,23	子ども読書の日〔共〕	よみきかせ	18	198	3	
	4/16	乳幼児学級〔共〕	よみきかせ	35			
	5/22	2歳児学級〔共〕	よみきかせ	40			
	7/5	お楽しみ会	ジャンボ紙芝居、よみきかせ、パン生地でドーナツ作り	11			
	12/13	お楽しみ会	ジャンボ紙芝居、工作(牛乳パックでクリスマスツリー)	14			
	1/31,2/1	文化祭〔共〕	古本市	80			
松尾	5/10	子ども読書の日	よみきかせ	14	2124	3	
	6/18	松尾小学校調べ学習	松尾小学校6年2組 松尾に関することの調べ学習	34			
	8/2	七夕お楽しみ会	よみきかせ、紙芝居、ペープサート	20			
	10/27~11/5	松尾小学校〔共〕	分館利用体験学習(1・4年)	238			10/27,28,31,11/5
	12/13	クリスマスお楽しみ会	よみきかせ、紙芝居、ハンドベル、竹田人形座、工作	39			
	1/31,2/1	文化祭〔共〕	古本市				大勢の方が来館
	5月~3月	乳幼児学級〔共〕	どんぐりクラブ	17			
	5月~3月	乳幼児学級〔共〕	いちごクラブ	53			
	11月~3月	慈光松尾保育園〔共〕	年長組 本の紹介、貸し出し(計10回)	575			
	11月~4月	慈光松尾保育園〔共〕	年中組 本の紹介、貸し出し(計10回)	549			
	11月~5月	慈光松尾保育園〔共〕	年少組 本の紹介、貸し出し(計6回)	345			
	11月~6月	松尾東保育園〔共〕	年長組 よみきかせ、本の貸し出し(計7回)	240			
下久堅	4/26	子ども読書の日	ホットケーキ作りとおいしいお話	40	137	5	子ども29人、大人11人
	7/26	人形劇公演	緑ヶ丘中・みどり座「ベジたび」	32			子ども21人、大人11人
	1/24	新年・新館おめでとう会	紙芝居、人形劇、音楽など	65			子ども43人、大人22人
	5月~11月	乳幼児学級〔共〕	よみきかせ、貸し出し(計6回)				
	5月~1月	ふれあいサロン	よみきかせ、貸し出し(計4回)				柿の沢、亀平、原の平
上久堅	5/6	小学校	おはなしの会	50	286	6	
	6/4	保育園	よみきかせ	22			
	8/6	人形劇フェスタ〔共〕	バスツアー	43			
	12/3	小学校	おはなしの会	50			
	12/17	いきいき老人教室〔共〕	よみきかせ	17			
	12/21	リニューアルオープン記念クリスマス会〔共〕	よみきかせ	70			越久保
	2/25	保育園	よみきかせ	34			
	毎月	保育園	よみきかせの会、貸し出し				
	毎月	小学校	朝読書の会よみきかせ				
千代	4/23	(栄)おたのしみ会	よみきかせ	13	352	2	
	4/30	おたのしみ会	よみきかせ	20			
	6/21	おたのしみ会	よみきかせ、紙芝居、工作(ふうふうこま工作)	29			
	7/9	(栄)おたのしみ会	運動遊び	24			
	8/6	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇・プラネタリウム鑑賞	55			
	11/16	文化祭〔共〕	廃棄本配布	3			
	12/6	クリスマス会	よみきかせ、工作(くるくるコップ)	40			
	12/21	(栄)おたのしみ会	よみきかせ、工作(クリスマスリース)	24			
	5月~3月	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級に合わせて開館(計13回)	144			
龍江	5/10	子ども読書の日	お話の会	8	259	10	
	6/11	お話の会	中央図書館斉藤	9			
	7/5	作るお楽しみ会	工作(牛乳パックでびっくり箱) おやつ作り(蒸しケーキとフルーツポンチ)	25			
	8/8	人形劇フェスタ〔共〕	バスツアー	50			
	11/1	文化祭〔共〕	お話の会、古本市	12			
	12/7	クリスマス会	よみきかせ、工作(毛糸でクリスマスツリー)	71			
	1/31	カルタ会〔共〕	絵カルタ、百人一首、龍江カルタ	44			
	3/7	春のお楽しみ会	ジャンボ絵本、マジックショー、新聞ドーム	40			

分館名				係会等	その他		
竜丘	5/7,14	子ども読書の日	よみきかせ	49	304	12	
	5/26	図書館見学〔共〕	小学校1年生図書館見学、お話し会	83			
	7/13	七夕まつり	よみきかせ、ジャンボ紙芝居、工作(七夕かざり)	23			
	11/8,9	文化祭〔共〕	紙芝居、パネルシアター、手遊び、おりがみ	76			
	12/13	クリスマス会		43			
	2/7	カルタ会		30			
	10月,2月	乳幼児学級〔共〕					
	年9回	参観日開館〔共〕					
	月1回	小学校〔共〕					
第2水	竜丘保育園来館〔共〕	貸出、よみきかせ(5月～1月)					
川路	7/19	おたのしみ会	工作(プラバン)	25	261	4	
	8/8	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇観劇ツアー	20			
	10/19	文化祭〔共〕	古本市、ミニ工作コーナー	65			
	12/13	クリスマス会	桐林伊藤さんの手作り紙芝居、工作(キラキラボトル)	32			子ども26人、大人6人
	2/7	カルタ会〔共〕	百人一首、各種カルタ、クイズ	34			子ども27人、大人7人
	4月～3月	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級のあと開館(計9回)	30			
	3月～4月	クイズ月間	下伊那の方言クイズ	55			130人に配布
三穂	4/23	お楽しみ会	図書館探検、おはなしの会	53	1596	6	
	5/27	小学校	よみきかせ	65			
	6/7	お楽しみ会〔共〕	よみきかせ、お弁当作り	45			
	8/6	人形劇フェスタ〔共〕	前座としてよみきかせ				
	8/7	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇観劇バスツアー	34			
	12/6	クリスマス会〔共〕	よみきかせ、小学生による大道芸	117			
	2/6	小学校	よみきかせ	66			
	2/9	文化祭〔共〕	古本市、新聞紙ドーム	42			
	2/13	小学校	よみきかせ	66			
	毎週水	保育園	来館時によみきかせ(計30回)	1050			35人×30回
	通年	いきいきハピリ〔共〕	お話の会(計3回)	38			
通年	乳幼児学級〔共〕	よみきかせ(計2回)	20				
山本	5/17	子ども読書の日	パネルシアター、ペーパーサー、工作(ブーメラン)	44	282	6	子ども34人、大人10人
	7/5,6	七夕お話の会	よみきかせ、飾り作り	20			子ども15人、大人5人
	10/8	小学校オープンスクール	パネルシアター作り	22			子ども16人、大人6人
	11/16	文化祭〔共〕	パネルシアター、スライム作り	94			パネル34人、スライム60人
	12/13	クリスマス会	よみきかせ、科学マジック(おもしろ科学工房)	73			子ども57人、大人16人
	1/24	お正月お話の会	よみきかせ、小学生の人形劇、付録抽選会	29			子ども22人、大人7人
	通年	山本小学校	出張よみきかせ(計70回)				団体貸出500冊
	通年	山本保育園	出張よみきかせ(計29回)				団体貸出840冊
	通年	さくら保育園	出張よみきかせ(計10回)				
	通年	久米保育園	出張よみきかせ(計11回)				団体貸出220冊
	通年	乳幼児学級〔共〕	貸し出し(計15回)				
	通年	トロ(未就園児)〔共〕	貸し出し(計19回)				
伊賀良	4/16～23	子ども読書の日	よみきかせ、手遊び(計9回)	304	1103	5	
	5/24	保育園	よみきかせ	33			
	7/2	お楽しみ会	星のおはなし会	203			子ども163人、大人40人
	9/3	一歳児学級〔共〕	よみきかせ、手遊び、わらべうた他	35			
	10/18	お楽しみ会	よみきかせ、伊賀良小児童による人形劇他	108			子ども64人、大人44人
	11/13	二歳児学級〔共〕	よみきかせ他	46			
	11/15,16	文化祭〔共〕	こわい話	323			
	11/20	三歳児学級〔共〕		35			
	11/27	保育園	よみきかせ				
	2/18	一歳児学級〔共〕	よみきかせ、手遊び、わらべうた他	16			

分館名					係会等	その他
上村	4/30	お話の会	よみきかせ	21	118	4
	5/20	ひよこちゃん		12		
	6/14	お楽しみ会	よみきかせ、紙芝居、工作(ゾートロープ)	11		
	8/7	人形劇フェスタ[共]	バスツアー	20		
	10/25	お楽しみ会	よみきかせ、囲碁ボール、五平もち作り	30		
	3/14	卒業おめでとうおたのしみ会	よみきかせ、ビンゴ	24		
南信濃	4/18	子ども読書の日	よみきかせ	15	375	12
	6/13	大人のためのはなし会[共]	よみきかせ、紙芝居、茶話会	25		
	7/7	人形劇フェスタ[共]	バスツアー	40		
	11/4	お楽しみ会	よみきかせ、おりがみ	6		
	11/30	お楽しみ会	よみきかせ、マスコット作り	9		
	12/23	クリスマス会[共]		70		
	3/25	お別れ会[共]	よみきかせ、ホットケーキ作り	30		
	通年	保育園	よみきかせ、人形劇(計6回)	180		

お楽しみ会 人数 9,196 人



おたのしみ会の様子（下久堅分館）

### ③分館研修会

#### ・第1回

8月21日(木) ①14時～16時 ②19時～21時

会場:中央図書館 研修室

参加者:50名(2回合わせて)

内容:事務研修

#### ・第2回

2月5日(木) 14時～16時

会場:中央図書館 研修室

参加者:36名

内容:南信州おもしろ科学工房スタッフを講師に「理科読」の実践方法の研修

### (3)障がい者・高齢者サービスの充実

デージー録音図書(CD・カセットテープ)をボランティアの協力により製作し、視覚障がい者、高齢者等、読書が難しい利用者に提供している。この録音図書は、上田点字図書館を通じ全国の利用者、図書館へも提供している。

最近、利用者の高齢化やパソコンからのダウンロードによる利用が増え、自館の貸出冊数は減少傾向にある。今までは必要に応じて録音図書を相互貸借で借りていたが、録音図書をパソコンから直接ダウンロードできる「サピエ」への登録の検討を行い、27年度、登録することを決めた。

高齢者等、小さな文字が読みづらい方々のためにも大活字本を購入しており、利用が増加している。

※「サピエ」とは…視覚障がい者をはじめ、目で文字を読むことが困難な方々に対して、様々な情報を点字や音声データで提供するネットワーク。

#### ①録音図書貸出タイトル数

	24年度	25年度	26年度
中央	2,058	1,981	1,768
県	659	530	461

#### ②録音図書相互貸借件数(借受)

	24年度	25年度	26年度
中央	143	112	117

#### ③点字図書相互貸借件数(借受)

	県
件数	177



サポート方法勉強会(声の輪)



利用者との交流会(県声のボランティア)

④障がい者用資料製作状況

(ア)録音図書製作数

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	81	20	200

(※1 購入、他館製作 0 ※2 製作 16、他館製作 4)

(イ)録音雑誌・新聞等製作数

	タイトル数	CD 枚数	テープ本数
中央	7	173	0
鼎	57	31	26

(ウ)平成 26 年度末録音図書蔵書数

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	1,050	2,926	25,092

⑤平成 26 年度大活字本受入数と年度末蔵書冊数と年間貸出冊数

	中央	鼎	上郷	合計
受入数	26	0	28	54
蔵書冊数	821	84	1,019	1,924
貸出冊数	2,368	418	562	3,348

⑥高齢者向け図書館講座

いきいき教室

	中央
回数(参加者数)	3 回 (34 人)

(4)多文化サービスの推進

ブラジル出身者等、外国籍市民の減少に伴い利用が減っているが、ベトナム出身者の増加に伴って、ベトナム語資料の充実を図った。貸出の中では英語絵本と中国の文芸作品の利用が多い。

外国語図書貸出冊数

	英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
中央	774	254	24	2	0	15	0	1,069
鼎	8	0	0	0	0	0	0	8
上郷	168	1	0	0	0	1	1	171
合計	950	255	24	2	0	16	1	1,248

## (5) 市民との協働

宮澤文庫の寄贈者宮澤芳重氏の生涯を描いた「地蔵になった男」上映会を、実行委員会及び松川町と開催し、地域で学ぶことの大切さを考える機会とした。また飯伊婦人文庫や伊那谷地名研究会、エンジョイビデオクラブや「塩澤実信の仕事」実行委員会などと協働して講座を行い、郷土学習の機会づくりや読書推進を図った。

図書館まつり特別資料展では、関係者の協力を得て展示や広報を行い、郷土の人物について学ぶ機会を提供、過去最高の観覧者数となった。

### ① 「地蔵になった男」上映会と座談会

4月30日(水)10:00～12:00 会場:飯田市美術博物館 参加者164人 DVD上映の後、座談会と宮澤文庫見学

4月19日～5月17日 実行委員による宮澤芳重氏関連資料展示、当日のみ上映会会場にも展示

座談会の記録を中心とした冊子を平成27年11月に刊行する予定で、実行委員が編集作業を進めている。

### ② 第14回図書館まつり

ア 映画会「なつかし名画トクまつり」(優秀映画鑑賞推進事業)

9月7日(日)13:00～16:50 会場:鼎文化センター 参加者253人 「忍ぶ川」、「約束」を上映

イ 図書館まつり 参加者合計 1,524人

○林望講演会『源氏物語』を語り 人間を語る」参加者 237人

10月4日(土)午後1:30～3:30 鼎文化センターにて

・林望『源氏物語私抄』読書会 9月14日(土)13:30～ 参加者42人

講師 長沼万里氏 中央図書館にて

○図書館特別資料展 9月27日(土)～10月5日(日) 観覧者数 713人

テーマ「発掘！郷土のすごい人～飯田から全国へそして世界へ」

後藤三右衛門、代田稔、北一明の3人にスポットを当て、その生涯や功績等を紹介した。

展示説明会 11月27日(土)13:30～ 参加者18人

郷土のすごい人クイズ 参加者34人

郷土のすごい人情報提供 10人



展示を楽しむ親子



展示説明会

○雑誌の付録プレゼント応募受付 応募数488人

図書館で定期購入している雑誌の付録プレゼントの応募受付を行い、後日抽選・発表・引き換えを行った。

③ 文学連続講座

図書館と飯伊婦人文庫が主催する文学連続講座は、平成 26年度で7年目を迎えた。全体テーマは「読書・今を人間らしく生きる力に」とし、大人の文学を学びたいという要望に応えるべく 4 講座を行った。参加人数は毎回多数で婦人文庫以外の方も増加してきており、学びが広がっている。

	日時	講師	テーマ	参加者数
第1回	4月20日(日) 午後1時30分～	江宮隆之 氏	ほんとうの宮沢賢治 雨ニモマケズとは何か	81名
第2回	5月18日(日) 午後1時30分～	吉澤貞人 氏	『平家物語』の人間像－巴・木曾義仲－	42名
第3回	6月8日(日) 午後1時30分～	鈴川博 氏	消された飯田藩と江戸幕府(その1) －長姫神社の御三霊－	82名
第4回	6月29日(日) 午後1時30分～	中繁彦 氏	どんな過酷な状況も人間味あふれるユーモアで 包む劇作家井上ひさし文学の人と作品、そこから 今日へのメッセージを考える	70名

④ 伊那谷地名講座

「伊那谷地名コーナー」の充実と普及を目的に、伊那谷地名研究会と共催で開催している「伊那谷地名講座」は 26 年度で3年目となり、26年度は計 名が参加した。講演を基にした展示も多くの方が見学しており、好評の定例行事となっている。

通算回数	開催日	テーマ	講師	参加者数
第7回	4月19日(土) 9:30～	飯田の地名と白山信仰 (現地探訪)	今村 光利	35名
第8回	11月20日(木) 18:30～	災害地名に学ぶ	久保田賀津男	37名
第9回	2月22日(日) 13:30～	知久平城跡	池田喜一	75名



第9回地名講座

おおともやすお・なとりちづ講演会



⑤ おおともやすお・なとりちづ講演会

子どもの本研究会主催 子どもゆめ基金助成事業 7月4日(土) 中央図書館 参加者 34名

『くまくん』シリーズなど、子どもから大人まで愛される絵本作家であるおおともやすお氏・なとりちづ氏をお呼びし、講演会を開催した。子どもの読書にかかわる様々な立場の参加者が集まり、講師と心通う充実した講演会となった。

⑥ 一般向け読書推進講座等

ア 「塩澤実信の仕事」出版文化展&講演会

郷土出身出版評論家の著作 100 冊を記念し、実行委員会主催により展示と講演会を行った。

展示 塩澤実信氏著書、飯田の出版人等紹介

2月28日(土)～3月26日(木)中央図書館 1階展示コーナー・階段にて

第1回 講演会 3月8日(日)13:30～15:00 中央図書館にて 参加者 102名

講演テーマ「飯田の出版文化を築いた先人たち」

イ エンジョイビデオクラブ映像祭

飯田下伊那地域の文化活動や行事を撮影、DVD化して図書館に寄贈いただいている団体によるDVD上映会を開催した。

11月29日(土)13:30～16:00 中央図書館にて 参加者 60名

上映DVD 「ロケ地を訪ねて・大鹿村騒動記」「山岳部遭難を偲ぶ会(神戸御影工業高校)」

「国選択無形文化財・遠山霜月まつり」「蜂追い奮戦記」

ウ 漆原宏写真展 「図書館は暮らしの知恵袋」

40年近く全国の図書館で、図書館を利用する人々を撮影し続けてきた写真家の漆原宏氏の写真展を開催した。

6月11日(水)～6月26日(木) 中央図書館にて

6月28日(土)～7月13日(日) 上郷図書館にて



塩澤実信の仕事 第1回講演会



漆原宏写真展

⑦ 図書館ボランティア

(単位：人)

活動内容	中央		県		上郷		合計	
	登録者数	延べ人数	登録者数	延べ人数	登録者数	延べ人数	登録者数	延べ人数
古書整理	1	9					1	9
病院への配本	6	45					6	45
環境整備	1	93	4	22			5	115
イベント	3	3					3	3
学生ボランティア			5	10			5	10
合計	11	150	9	32			20	182

平成26年度 主な行事等

	中央図書館	県図書館
4月	婦人文庫「文学ふるさと探訪」(4/14) 56人 録音図書製作ボランティア養成講座(4/16～) 第7回地名講座今村光利氏(4/19) 35人 文学連続講座① 江宮隆之氏(4/20) 81人 「地蔵になった男」宮澤芳重上映会 (4/30) 美博にて164人	
5月	図書館探検ツアー(5/10) 子ども31人 大人10人 「伊那」DVD贈呈式(5/15) 文学連続講座② 吉澤貞人氏(5/18) 52人 手作り絵本巡回展(5/24・25) 追手町小学校読み聞かせ(5/27～6/3)	県みつば保育園年長児来館(5/1) 県声のボランティア総会(5/10) 12人 県小学級招待3年生(5/29) 117人 県小学級招待2年生(5/30、6/3) 108人
6月	飯田下伊那図書館協会総会・研修会(6/5) 文学連続講座③ 鈴川博氏(6/8) 80人 漆原宏写真展6/11～26 声の輪利用者交流会(6/13) 47人 文章講座同窓会講演会(6/28) 53人 文学連続講座④ 中繁彦氏(6/29) 72人 第1回図書館協議会(6/24)	県みつば保育園年長児来館(6/4) 県小学級招待 5年生(6/4、9/2、4、5) 111人  県声のボランティア利用者交流会(6/7) 16人 科学おたのしみ会“ビー玉万華鏡を作ろう！” (6/21) 45人
7月	婦人文庫豊橋読書サークルとの交流会(7/3) 45人 声の輪研修会(7/4) 37人 子どもの本研究会絵本作家講演会(7/4) 34人	県小学級招待 6年生(7/3)
8月	建築士展示・職人体験講座(8/3・4) 178人 美博まつり(8/3・4) ブース担当 こわいおはなし会(8/7) 90人 人形劇フェスタ公演・ワークショップ(8/8・9・10)	県児童クラブおたのしみ会(8/5) 28人 県児童センターおたのしみ会(8/12) 22人
9月	なつかし名画トクトクまつり(9/7) 253人 図書館まつり読書会(9/14) 42人 図書館まつり(9/27～10/5) 図書館特別資料展713人 説明会18人	
10月	中央図書館平成26年度来館者10万人達成(10/25) 文学の名作を読む会(10/26) 31人 声の輪研修会(10/22) 35人	琴りんてんしゃん(10/18) 24人
11月	追手町小学校読み聞かせ(11/26～12/3) 第8回伊那谷地名講座(11/20) 37人	⑩本キャンペーン(11/1～11/30) 県ふれあい文化祭展示(11/8、9)
12月	第2回図書館協議会(12/19) 声の輪利用者交流会(12/12) 25人 朗読駅伝「柿ものがたり」(12/14) 28人 おはなしすごろく(12/13) 干支の折り紙教室(12/21) 34人 ゆく年くる年おたのしみ本(12/24～28) 50人	おはなしすごろく(12/2～1/31) 170人
1月	県図書館協会共催地域連携講座(1/10) 29人 柿のおはなし会(1/24) 40人	新春おたのしみ福袋(1/6～10) 50人
2月	第9回伊那谷地名講座(2/22) 75人 蔵書点検臨時休館(2/17～2/20)	特別親子おたのしみ会“わらべうたであそぼう！” (2/12) 17人 県小学級招待1年生(2/18、25) 127人 蔵書点検臨時休館(2/24)
3月	「塩澤実信の仕事」展示会(3/28～4/23) 第1回講演 会(3/8) 102人 第3回図書館協議会(3/3) 春休みのりものおはなし会(3/21～)	県児童クラブおたのしみ会(3/24) 24人 県声のボランティア総会(3/14)
定 例 行 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたのしみ会(毎週土曜 対象別に2回)</li> <li>・7カ月児相談での絵本の話(本庁・伊賀良ブロック)</li> <li>・2歳児相談での絵本の話(本庁・伊賀良ブロック)</li> <li>・育児サークル等お話し会(年8回)</li> <li>・小学生・保育園図書館見学(年8回)</li> <li>・声の輪例会(月1回)</li> <li>・録音図書製作ボランティア養成講座(月1回)</li> <li>・婦人文庫運営委員会(月1回)</li> <li>・子どもの本研究会(月1回)</li> <li>・図書館まつり実行委員会(年8回)</li> <li>・4市町村間ネットワーク会議(2ヶ月に1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたのしみ会(毎週土曜)</li> <li>・親子おたのしみ会(毎月第2木曜)</li> <li>・7カ月相談での絵本の話(県ブロック)</li> <li>・2歳児相談での絵本の話(県ブロック)</li> <li>・県幼稚園(月2回) ・殿岡保育園(年5回)</li> <li>・県東保育園(年11回)</li> <li>・県幼稚園親子おはなし会(年2回)</li> <li>・乳幼児学級・育児サークル等おはなし会(年7回)</li> <li>・県声のボランティア研修会(年2回)</li> <li>・『としょかんの窓』(月1回発行)</li> </ul>

上郷図書館	分館	職員研修等
	「子ども読書の日」関連事業各種 (4/18～5/17) 第1回分館長主事会(4/22)	
読みきかせボランティア代表者会(5/27) 文章講座開校式(5/18) 中学校向け図書館だより発行		公共図書館初任職員研修会5/9 長野市 5人 県公共図書館長会議5/23小布施町 デイジー信州研修会 5/30 上田市1人
おもしろ科学工房の科学教室 “ふきやをつくってあそぼう！”(6/14)40人 高校向け図書館だより発行 漆原宏写真展6/28～7/13		飯田下伊那図書館協会研修会 5/23 中津美奈子氏
上郷小2年図書館利用指導(4回) かいとうりぷるからのちょうせんじょう (7/9～8/31)248人 小学校向け図書館だより発行		長野県図書館協会専門研修 7/17長野市 3人
小学校向け図書館だより発行	分館研修会(8/21)	学校図書館「子どもの本を知る」 講演会1人
パパ'S絵本プロジェクト伊那 絵本ライブ (9/7)52人 上郷小3年図書館利用指導(3回) 一般向け図書館だより発行		長野県図書館協会専門研修9/19塩尻市3人 図書館初任職員研修 9/26長野市4人 子どもの本研究会視察研修9/12北杜市1人 声の輪視察研修9/24半田市 1人
ねえ、おとうさんおはなしして(10/18)13人 読みきかせボランティアの会研修会 (10/24～25)96人 文章講座同窓会オープン講座(10/25)		日本点字図書館視察研修10/8 1人 長野県図書館協会専門研修10/16塩尻市4人
おはなしすごろく(11/19～3/31) 小学校向け図書館だより発行		飯田下伊那図書館協会研修会 11/7中澤孝之氏
中学校向け図書館だより発行 高校向け図書館だより発行	第2回分館長主事会(11/27)	障害者サービス研修会12/9 長野市2人
		長野県図書館協会専門研修1/10 1人 生涯学習推進講座1/22 塩尻市3人
蔵書点検臨時休館日(2/25～26) 上郷小3年調べ学習指導(3回) 読みきかせボランティア代表者会(2/10) 一般向け図書館だより発行	分館研修会(2/5)	キャリアデザインシンポジウム 箕輪町 3人
小学校向け図書館だより発行 春のとくべつおはなし会(3/11)32人		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会(毎週水曜)</li> <li>・こどもの本の会(年10回)</li> <li>・えほんの会(年10回)</li> <li>・7ヶ月相談での絵本の話(鼎・松尾ブロック)</li> <li>・2歳児相談での絵本の話(鼎ブロック)</li> <li>・保育園おはなし会 座光寺(年4回)</li> <li>上郷東(年5回) 上郷西(年6回)</li> <li>・育児サークル等お話し会(年10回)</li> <li>・文章講座(年11回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分館係会(随時)</li> <li>・各分館おたのみ会(随時)</li> <li>・分館だよりの発行(随時)</li> <li>・公民館との共催行事(随時)</li> <li>・公民館地区文化祭参加</li> <li>・公民館乳幼児学級</li> <li>・保育園・小学校おはなし会</li> <li>・分館研修会(各分館ごと実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童サービス研修会(随時)</li> <li>・レファレンス研修会(随時)</li> <li>・図書館サービス研修会(随時)</li> <li>・郷土資料研修会(随時)</li> </ul>

# 資料編



「パパ'S絵本プロジェクト伊那による絵本ライブ」 H26.9.7 / 上郷図書館

## 1 沿革

### (1) 中央図書館

- ・明治34年 飯田小学校内に飯田文庫設立。  
旧飯田藩主堀家の蔵書を購入。
- ・大正4年11月10日 公立図書館となる。(町立)
- ・昭和6年7月1日 飯田藩連隊区司令部の建物に移る。
- ・昭和13年 書庫新築。
- ・昭和13年2月11日 長野県知事より表彰される。(館の運営宜しきを得、逐年成績みるものあり云々)
- ・昭和23年6月 附設公民館増築。
- ・昭和31年9月30日 近隣7か村と合併し、当館が本館となり、旧7か村の地区に分館を置く。
- ・昭和36年3月31日 川路村合併。川路分館を加え8分館となる。
- ・昭和38年4月1日 飯田市中央公民館内に分室を設ける。
- ・昭和39年3月31日 龍江村・千代村・上久堅村合併・龍江・千代・上久堅を加え11分館となる。
- ・昭和42年11月1日 羽場地区に羽場分室を設ける。
- ・昭和43年4月1日 羽場分室を分館にし、中央・第一・第二公会堂の3か所で貸出をする。(12分館となる)
- ・昭和45年4月1日 飯田市中央公民館内の分室を廃止する。
- ・昭和46年4月1日 丸山分室を分館にし、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。(13分館となる)
- ・昭和48年6月1日 丸山分館が飯田農協で貸出をしていたが、これを廃し丸山連合自治会集会所(丸山8区旧消防署分署跡)で貸出することになる。
- ・昭和49年2月27日 児童室・婦人文庫室・会議室(新館)竣工。
- ・昭和53年度 モデル分館事業として「児童向け土曜貸出」を、下久堅(5月)、松尾(7月)、龍江(1月)の3館が実施。
- ・昭和54年度 土曜貸出を羽場・千代・伊賀良分館が実施、計6館となる。
- ・昭和54年4月 羽場分館(公民館)完成。
- ・昭和54年10月28日 全面改築移転のため閉館となる。
- ・昭和55年1月8日 飯田文化会館で仮開館開始。
- ・昭和55年1月 飯田市公民館図書室で土曜貸出を始める。(橋南地域へのサービスのため)
- ・昭和55年3月18日 旧図書館を取り壊す。
- ・昭和55年4月 丸山分館(公民館)完成。
- ・昭和56年3月 飯田市公民館図書室での土曜貸出をやめる。
- ・昭和56年5月15日 市立飯田図書館改築完了。
- ・昭和56年7月3日 市立飯田図書館改築完了竣工式。
- ・昭和56年7月5日 市立飯田図書館新館開館。
- ・昭和57年度 座光寺・竜丘・川路・山本土曜貸出実施。
- ・昭和58年 保健課と連携し、7か月乳児相談時に絵本の読みきかせの話を始め。
- ・昭和59年4月 千栄で土曜貸出実施。
- ・昭和59年12月1日 鼎町合併、飯田市立鼎分館となる。
- ・昭和60年4月1日 東野分館(公民館)完成。
- ・昭和60年6月1日 東野分館開館、土曜貸出実施。
- ・平成3年6月15日 本館、ヤングアダルトコーナー開設。
- ・平成5年7月1日 上郷町合併、飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成8年4月1日 合併により、市立飯田図書館を飯田市立中央図書館と改称。  
分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。(NEC : LiCS-N)
- ・平成 10 年 3 月 31 日 「飯田市立中央図書館漢籍目録」刊行される。
- ・平成 12 年 8 月 「かこさとしの世界」展 開催される。
- ・平成 13 年 2 月 空調施設改修工事着工。同 6 月稼働 (繰越明許事業)
- ・平成 13 年 11 月 「はじめまして絵本」事業による 7 か月乳児健診時の絵本プレゼント開始。
  
- ・平成 15 年 6 月 かこさとし作『だるまちゃん・りんごんちゃん』出版される。
- ・平成 16 年 7 月 22 日 コンピュータシステム更新、稼働。(NEC : LiCS-RIII)
- 図書館ホームページ開設、インターネット蔵書検索開始。
- インターネットによる予約受付開始。
- ・平成 16 年 9 月 インターネットによる予約受付開始。
- ・平成 17 年 10 月 上村・南信濃村合併、上村分館・南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 4 月 20 日 伊賀良学習交流センター竣工、同施設内に伊賀良分館を移転。
- ・平成 18 年 4 月 29 日 中央図書館で祝日開館を本格実施。
- ・平成 18 年 8 月 25 日 ビジネス支援開始。
- ・平成 19 年 1 月 夜間開館試行。
- ・平成 19 年 3 月 10 日 市岡文書及び古書・飯田文書・村沢資料目録をW e b 上公開。
- ・平成 19 年 5 月 繰り下げ開館試行。
- ・平成 19 年 9 月 毎週木曜日繰り下げ開館 12:00~20:00 開館実施。
- ・平成 20 年 4 月 毎週木曜日 10:00~20:00 開館実施。
- ・平成 23 年 3 月 耐震改修工事竣工 (休館 10 月 18 日~11 月末)。
- ・平成 23 年 12 月 27 日 図書館ネットワークに関する定住自立圏形成の追加協定を松川町・高森町と締結。
  
- ・平成 23 年 7 月 1 日 コンピュータシステム更新、稼働。(NEC : LiCS-Re)
- 南信州図書館ネットワークを松川町図書館・高森町立図書館と運用開始。
- ・平成 24 年 3 月 16 分館の蔵書データ化を 22 年度と 23 年度 2 か年で実施。
- ・平成 24 年 9 月 16 分館にインターネット用パソコン配置。
- ・平成 24 年 10 月 16 分館の蔵書データをホームページで公開、同時に分館からのインターネット予約開始。
  
- ・平成 25 年 7 月 1 日 美術博物館、歴史研究所の蔵書データをホームページで公開。
- ・平成 26 年 2 月 1 日 国立国会図書館「図書館向けデジタル資料送信サービス」による閲覧開始。
- ・平成 26 年 7 月 1 日 南信州図書館ネットワークに豊丘村図書館が参加し、4 市町村での運用が始まる。

## (2) 地域館

### ① 県図書館

- ・明治 43 年 12 月 7 日 開庫式を行い、青年会が管理、運営を行う。
- ・大正 12 年 7 月 26 日 県より私立図書館として認可される。
- ・昭和 25 年 7 月 公民館図書部として運営される。
- ・昭和 35 年 1 月 旧自治警察署跡へ移転して独立の図書館となる。
- ・昭和 38 年 4 月 1 日 司書 1 名を配置して昼間開館を行う。
- ・昭和 54 年 10 月 27 日 旧自治警察署跡へ図書館改築。
- ・昭和 59 年 12 月 1 日 飯田市と合併、飯田市立県分館となる。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 職員 2 名と土・日パート職員を配置して本館と同じ運営を行う。
- ・平成 5 年 7 月 1 日 上郷図書館と同列の飯田市立県図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。
- ・平成 11 年 12 月 21 日 共生のまち推進事業実施 (障害者対応施設整備)

## ② 上郷図書館

- ・大正 11 年 4 月 1 日 上郷青年会は上郷文庫設置を決定。
- ・大正 12 年 10 月 10 日 上郷青年会は小学校の一室を借りて上郷文庫を開館。
- ・昭和 2 年 7 月 18 日 文庫を小学校より信用組合に移転。蔵書 675 冊。
- ・昭和 10 年 11 月 22 日 図書館経営と山林経営の協力が認められ、上郷青年会は文部大臣表彰を受ける。
- ・昭和 11 年 7 月 21 日 下黒田に独立図書館建設、開館式。
- ・昭和 15 年 2 月 11 日 優良図書館として県知事表彰。
- ・昭和 16 年 7 月 12 日 上郷青年会図書館を村立上郷図書館へ移管式。
- ・昭和 21 年 7 月 1 日 図書館の一部を改装、国保直営の上郷診療所を併設。
- ・昭和 25 年 9 月 1 日 診療所は高松病院（現ゆうゆう）の位置に移転。
- ・昭和 31 年 7 月 1 日 図書館へ専任職員を置く。
- ・昭和 37 年 1 月 6 日 全日開館を開始、土・日を除き午前 10 時から午後 5 時まで。専任職員を 1 名増員。
- ・昭和 39 年 11 月 1 日 上郷公民館落成にて図書館移転、一階の 3 室を占める。旧図書館は公民館下南分館として払い下げる。
- ・昭和 42 年 4 月 1 日 専任図書館長を置く。夜間開館の係として青年会員の奉仕を受ける。
- ・昭和 58 年 10 月 是枝英子著『知恵の樹を育てる-信州上郷図書館物語-』出版される。
- ・昭和 60 年 4 月 28 日 現図書館開館式。5 月 2 日竣工式。総経費 2 億 7 千万円。（敷地費含む）
- ・平成 5 年 7 月 1 日 飯田市と合併。飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピューターシステム稼働による貸出はじまる。

## (3) 分館

### ① 座光寺分館

- ・明治 36 年 4 月 23 日 青年団は文庫創立資金を村内より募り、文庫規則をつくる。
- ・明治 36 年 10 月 1 日 文庫を「座光寺文庫」と命名し小学校に設置。開庫式を開く。
- ・明治 37 年 10 月 10 日 「座光寺文庫」を「麻績文庫」と改名。
- ・大正 3 年 巡回文庫開設。
- ・大正 14 年 明治 27 年創立の「女子同窓会文庫」と合併する。
- ・昭和 8 年 11 月 4 日 「麻績文庫」規則を改正する。
- ・昭和 14 年 1 月 30 日 社会情勢に対処し、読書機関の重要性を認め、青年団に図書部を新設し、文庫を改革し、文庫の整理をする。
- ・昭和 14 年 3 月 11 日 国立図書館長・松本喜一氏視察する。
- ・昭和 14 年 3 月 19 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き文庫の経営及び製本法の指導を受ける。
- ・昭和 25 年 「麻績文庫」を「座光寺図書館」と改名する。  
北部地区 5 か村（座光寺・上郷・市田・山吹・大島）にて図書館協会をつくる。
- ・昭和 31 年 青年団は図書館財産を村当局に寄付し、公民館図書部として運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により市立飯田図書館座光寺分館となる。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ② 松尾分館

- ・大正 12 年 12 月 皇太子成婚記念事業として、従来の青年文庫・児童文庫を統一して  
「村立松尾図書館」の設立を計画し、村費 300 円を計上する。
- ・大正 13 年 1 月 26 日 「村立松尾図書館」開館式を行う。書籍数は児童文庫 671 冊、普  
通文庫 575 冊。以来館長には村長、副館長には小学校長、事務員  
には小学校教員があたり、図書館は小学校の建物の中にあり、学  
校にて運営する。
- ・昭和 21 年 図書館を公民館付属建物に移し、青年会が運営する。
- ・昭和 23 年 4 月 図書館が公民館に所属し、公民館図書部にて運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館松尾分館となる。
- ・昭和 53 年 7 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 4 月 14 日 公民館の新築に伴い同館内に分館を併設し毎週土曜日、水曜日、  
第 2・第 4 日曜日に開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ③ 下久堅分館

- ・大正 13 年 4 月 下久堅巡回文庫として発足。
- ・昭和 4 年 当時の青年会が中心となって、小学校内に村立図書館を設立。  
村役場へ移転。
- ・昭和 12 年 小学校へ移転。
- ・昭和 16 年 下久堅公民館設立と同時に公民館図書部へ移管。
- ・昭和 23 年 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館下久堅分館となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 新館落成。(公民館内に併設)開館。
- ・昭和 44 年 2 月 20 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 53 年 4 月 15 日 土曜貸出を始める。
- ・昭和 53 年 5 月 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 公民館の移転改築に伴い、同建物内に併設し開館する。
- ・平成 26 年 12 月 27 日

## ④ 上久堅分館

- ・昭和 25 年 4 月 1 日 上久堅公民館が設置されると、図書部として発足する。青年団の  
文化部が管理する。
- ・昭和 32 年 4 月 1 日 公民館図書部が管理する。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 上久堅村は飯田市に合併し、飯田市立図書館上久堅分館となる。
- ・昭和 41 年 11 月 上久堅公民館の一室を図書館とする。
- ・昭和 56 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 元年 1 月 分館の部屋を改築し広める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 5 月 7 日 健康相談室へ図書室を移転。
- ・平成 26 年 12 月 20 日 公民館の耐震改修に伴い、改修整備をおこなう。

## ⑤ 千代分館

- ・明治 27 年 千代小学校職員及び青年会有志により、千代小学校内に「千代文  
庫」を創立。
- ・大正 2 年 1 月 30 日 「千代文庫」を千代青年会に管理委託。
- ・大正 12 年 4 月 1 日 御成婚記念として「村立図書館」を設立し、前者を移管。(独立  
施設としての図書館ではなかった)
- ・昭和 12 年 7 月 9 日 村出身、島岡亮太郎氏の寄贈により木造 2 階建 1 棟 (4 間×6 間、  
階段便所つき) の独立図書館を建築。名称「村立千代図書館」と  
して発足。後、館内に「二宮報徳文庫」「児童文庫」「忠勇文庫」  
を特設。

- ・昭和 14 年 2 月 11 日 県下優良図書館として県知事表彰を受ける。
- ・昭和 23 年 4 月 1 日 千代公民館が管理にあたる。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 千代村は飯田市に合併し、飯田市立図書館千代分館となる。
- ・昭和 52 年 6 月 19 日 小学校体育館建設のため取り壊し、小学校内の一部を仮分館とする。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 55 年 4 月 基幹集落センターの一室を図書館とし、開館する。
- ・昭和 59 年 4 月 千栄で土曜貸出を実施する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 23 年 5 月 毛呂窪公民館移転に伴い同建物内に千栄分室を併設し開館する。
- ・平成 26 年 7 月 20 日 公民館の移転改築に伴い、同建物内に併設し開館する。

## ⑥ 龍江分館

- ・昭和 23 年 龍江公民館が設置されると図書部として発足する。図書室を村役場内に置く。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 龍江村は飯田市に合併し、飯田市立図書館龍江分館となる。
- ・昭和 39 年 7 月 龍江支所事務室を半分に仕切り、その半分を図書室とする。
- ・昭和 54 年 1 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 54 年 職場団体貸出文庫を始める。
- ・昭和 59 年 3 月 12 日 公民館の新築にともない同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ⑦ 竜丘分館

- ・大正 9 年 9 月 青年の手により竜丘小学校内に竜丘文庫を設立し、青年会が管理する。
- ・昭和 2 年 各部落に独立文庫ができる。竜丘処女会文庫ができる。
- ・昭和 4 年 2 月 1 日 竜丘分庫、処女会文庫を統合して竜丘図書館を設立する。
- ・昭和 12 年 1 月 26 日 村立図書館となる。
- ・昭和 19 年 12 月 20 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き、読書講習会を開く。
- ・昭和 21 年 3 月 マッカーサーの命により軍事関係の図書約 400 冊を廃棄する。
- ・昭和 23 年 公民館が設置され、公民館図書部となる。
- ・昭和 24 年 7 月 旧竜丘電気組合事務所を買収し、図書館に改造する。
- ・昭和 25 年 10 月 24 日 創立 20 周年記念を兼ね開館式を行う。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村合併により、飯田市立図書館竜丘分館となる。
- ・昭和 51 年 4 月 1 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 13 年 5 月 5 日 公民館の新築に伴い同建物内に併設し開館する。  
(公民館の中心施設として設置)

## ⑧ 川路分館

- ・大正 14 年 小学校内に図書室を設置。
- ・昭和 17 年 3 月 村立川路図書室となる。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 川路村は飯田市に合併し、飯田市立図書館川路分館となる。
- ・昭和 36 年 6 月 27 日 大水害にて蔵書が全部水に浸り、廃棄する。
- ・昭和 41 年 4 月 1 日 飯田市役所川路支所の一室を図書館とする。
- ・昭和 57 年 3 月 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し、開館する。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

### ⑨ 三穂分館

- ・明治 29 年 三穂親友会創立。
- ・明治 38 年 日露戦争並びに親友会創立 10 周年記念事業として親友文庫を創設。
- ・大正 11 年 親友会文庫を三穂小学校に移管。
- ・大正 15 年 当時すでに誕生していた三穂青年会部落文庫を統合して村立図書館とする。同時に青年会が運営する。
- ・昭和 22 年 5 月 村立図書館を公民館に移管し、公民館図書部として発足する。
- ・昭和 26 年 部落巡回文庫開設。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館三穂分館となる。
- ・昭和 56 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 59 年 1 月 23 日 公民館の新築に伴い、同建物内に分館を開設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

### ⑩ 山本分館

- ・大正 11 年 各部落の青年会図書をまとめ、役場の 2 階に図書室が設けられる。運営は青年会があたる。
- ・昭和 2 年 山本小学校校庭の一隅の建物に「山本青年会図書室」を設立する。工費 740 円。
- ・昭和 26 年 山本公民館図書部へ移管。この時、青年学校図書もここへ移して一本化する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館山本分館となる。
- ・昭和 35 年 7 月 20 日 山本支所の裏手に倉庫を改造し更に増築。ここに図書館を移す。
- ・昭和 49 年 5 月 11 日 公民館を新築し、その一室を図書館分館とする。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 6 年 4 月 9 日 公民館の新築に伴い、別棟に図書館を併設しオープンする。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

### ⑪ 伊賀良分館

- ・昭和 15 年 1 月 15 日 伊賀良青年団新年総会において、図書館の建設を決議。
- ・昭和 15 年 2 月 北方・赤間栄吉氏の建築寄附により公会堂を改造して利用することとなる。敷地として村役場付近大平田所有を買収。
- ・昭和 15 年 2 月 27 日 県立図書館長の乙部泉三郎氏来村し設計指導する。設計者・木下作治氏。
- ・昭和 25 年 1 月 青年団は図書館が狭くなったので新築を計画を立て、資金の積み立てを計画。以後毎年 5,000 円ないし 10,000 円の積み立て。
- ・昭和 27 年 伊賀良公民館図書部となる。ただし、運営は青年団があたる。
- ・昭和 29 年 再び伊賀良青年団図書部となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館伊賀良分館となる。
- ・昭和 35 年 新築することに決定、予算 85 万円。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 新築する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 63 年 4 月 9 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 63 年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 18 年 4 月 22 日 伊賀良学習交流センター竣工に伴い、同館内に分館を移転してオープン。
- ・平成 19 年 6 月 開館日を拡大、火曜日と木曜日の午後も開館。
- ・平成 22 年 9 月 木曜日午前中開館

## ⑫ 羽場分館

- ・昭和 42 年 11 月 1 日 羽場地区に羽場分室を設置。
- ・昭和 43 年 4 月 1 日 羽場分館となり、中央・第 1・第 2 公会堂の 3 か所で貸出をする。
- ・昭和 54 年 3 月 27 日 公民館の新築に伴いその一室を図書館分館とし、中央公会堂は閉鎖する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 4 月 土曜貸出に大人も含める。
- ・平成 元年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 10 年 10 月 公会堂の改修に伴い、羽場大休の第一分室を閉鎖する。
- ・平成 12 年 3 月 羽場大通りの第二分室を閉鎖する。

## ⑬ 丸山分館

- ・昭和 45 年 4 月 1 日 丸山地区に分室を設置、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 46 年 4 月 1 日 丸山分館となり、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 48 年 6 月 1 日 飯田農協を廃し、丸山連合自治会集会所で貸出をする。
- ・昭和 49 年 7 月 20 日 丸山公民館の一室にて貸出をする。
- ・昭和 55 年 4 月 丸山公民館（全面改築）完成、図書室にて貸出をする。
- ・昭和 56 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 7 月 16 日 丸山連合自治会集会所での貸出を止め、新たに丸山児童館で貸出し、土曜貸出も児童館で行う。
- ・平成 元年 2 月 丸山児童館での貸出を止め、丸山公民館で土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 滝の沢集会所（新築）滝の沢分室
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 3 月 31 日 滝の沢分室を閉鎖する。

## ⑭ 東野分館

- ・昭和 60 年 4 月 1 日 東野公民館の 2 階一室に東野分館を設置する。
- ・昭和 60 年 6 月 1 日 開館、土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ⑮ 上村分館

- ・平成 17 年 10 月 1 日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館上村分館となる。
- ・平成 22 年 9 月 土曜日開館を第 2・第 4 の 10 時～12 時と改める。

## ⑯ 南信濃分館

- ・平成 17 年 10 月 1 日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 10 月 1 日 定期開館開始。

(4) 飯田図書館 歴代館長

	氏名	兼務／専任	在任期間
初代	掛川良平	兼務	大正4.11～昭和6.3
第二代	両隈喜重	兼務	昭和6.4～昭和13.3
第三代	本堂順一	兼務	昭和13.4～昭和22.3
第四代	伊藤兵三	専任	昭和22.7～昭和24.3
第五代	小林保一(郊人)	専任	昭和25.3～昭和26.9
第六代	本堂順一	兼務	昭和26.10～昭和27.3
第七代	池元威男	専任	昭和27.4～昭和31.3
第八代	松澤太郎	兼務	昭和31.4～昭和39.3
第九代	高堂正男	兼務	昭和39.4～昭和40.3
第十代	池田寿一	専任	昭和40.4～昭和51.3
第十一代	林正敏	専任	昭和51.4～昭和55.3
第十二代	今村兼義	専任	昭和55.4～平成6.3
第十三代	代田一行	専任	平成6.4～平成10.3
第十四代	福澤善紀	専任	平成10.4～平成12.3
第十五代	岡田昌伸	専任	平成12.4～平成17.3
第十六代	稲吉憲一	専任	平成17.4～平成18.3
第十七代	仲平和夫	専任	平成18.4～平成22.3
第十八代	牧内和人	専任	平成22.4～平成25.3
第十九代	加藤みゆき	専任	平成25.4～平成27.3
第二十代	遠山尚久	専任	平成27.4～

## 2 施設

### (1) 中央図書館 (TEL 0265-22-0706・FAX 0265-22-0235)

・敷地	飯田市追手町2丁目677番地3	面積	1,625.47 m <sup>2</sup>
・建物	鉄筋コンクリート3階建		
	建築面積 1,014.28 m <sup>2</sup>	延床面積	2,507.63 m <sup>2</sup>

### (2) 地域館

鼎図書館 (TEL 0265-23-9901・FAX 0265-23-9908)

・敷地	飯田市鼎中平2246番地	面積	1,117 m <sup>2</sup>
・建物	木造平屋建		268.30 m <sup>2</sup>

上郷図書館 (TEL 0265-52-2551・FAX 0265-52-2574)

・敷地	飯田市上郷黒田442番地1	面積	1,249.83 m <sup>2</sup>
・建物	鉄筋コンクリート2階建		
	建築面積 581.89 m <sup>2</sup>	延床面積	1,117.31 m <sup>2</sup>

### (3) 分館

分館名	独立・併設	面積(m <sup>2</sup> )
座光寺	座光寺公民館内	53.00
松尾	松尾公民館内	101.68
下久堅	下久堅公民館内	71.22
上久堅	上久堅公民館内	42.80
千代	千代公民館内	66.24
	毛呂窪公民館(千栄分室)	
龍江	龍江公民館内	77.49
竜丘	竜丘公民館内	136.80
川路	川路公民館内	49.56
三穂	三穂多目的研修センター内	63.18
山本	山本公民館内	90.72
伊賀良	伊賀良学習交流センター内	299.95
羽場	羽場公民館内	58.59
丸山	丸山公民館内	61.20
東野	東野公民館内	78.00
上村	かみっこ交流館内	162.75
南信濃	南信濃学習交流センター内	40.00
16分館・1分室		合計 1,453.18 m <sup>2</sup>

内お話の部屋 28 m<sup>2</sup>  
内書庫 7.2 m<sup>2</sup>

### (4) コンピュータシステム

平成23年7月1日 新システム導入・南信州図書館ネットワーク運用開始。

- ・参加自治体: 飯田市・松川町・高森町・豊丘村 (H26.7 加入)
- ・新システム: NEC LiCS-Re (リッチクライアント型システム)
- ・MARC : TRC MARC Tタイプ (図書館流通センター)

### 3 職員（平成27年4月1日現在）

#### (1) 中央館・地域館（県・上郷）

中央図書館					
館長	遠山 尚久				
情報サービス係	係長	瀧本 明子（司書）	県図書館	館長	遠山 尚久（兼務）
		関口 真紀（司書）			木下 和子（司書教諭）
		今村 洋子（司書）			北原 朋弥（司書）
		齊藤千恵美（司書）		臨職	玉置 郁子（司書）
	臨職	鈴川小野花（司書）		パート	福沢 淑子（司書）
		熊谷 寿志（司書）		〃	清川 俊子（司書）
		小池久仁子（司書）			
		伊藤しのぶ（司書）			
		田中 瑞絵（司書）	上郷図書館	館長	矢澤 恵（司書）
		杉本 敏子（司書）			北村美由紀（司書）
		遠山百合香（司書教諭）			田中 文子（司書）
		浅井 若菜（司書）		臨職	加藤 敦子（司書教諭）
	パート	矢野 寛子			伊藤 理恵（司書）
	〃	澤上有希子		パート	前澤 道子
	〃	吉川 里佳（司書）			
ビジネス支援係	係長	中平 憲一			
		樋本 有希（司書）			

#### (2) 分館(16館)

・分館長(各地区公民館長推薦) ・分館主事(公民館主事が兼務)

分館名	分館長	分館主事	分館名	分館長	分館主事
羽場	藤尾 雅子	鈴木 勇氣	龍江	木下 邦子	島田 大輔
丸山	吉川 進久	西脇 充	竜丘	前沢喜代美	熊谷 隆幸
東野	小町 慶子	和田 健太郎	川路	清水 啓子	小池 勝士
座光寺	三村 正子	横山 淳也	三穂	井上 延子	青木 真由子
松尾	木下 泉	下岡 祥平	山本	金澤 秀子	久保田 晋伍
下久堅	橋爪 文明	野牧 和将	伊賀良	檀原 崔肇	小島 徹
上久堅	桐生 千秋	永田 麻美子	上村	古瀬 幸与	村澤 勝弘
千代	川手 清加	新井 康平	南信濃	鳴澤 泉	林 優一郎

・分館係員(パート職員) 78人が交代勤務(主に水・土・日曜日)

#### 4 図書館協議会委員

(1) 設置根拠

図書館法第 15 条・飯田市立図書館条例第 11 条の規定により図書館協議会を置く。

(2) 任 期：2 年

(3) 任 務：図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なうサービス業務について館長に意見を述べる。

(4) 平成 26 年度の主な協議事項

- |       |          |   |
|-------|----------|---|
| 第 1 回 | 6 月 24 日 | 平成 25 年度事業報告・26 年度活動方針及び重点事業<br>次期サービス計画策定について<br>南信州図書館ネットワークへの豊丘村参入について |
| 第 2 回 | 12 月 9 日 | 図書館協議会議事録の作成と公表について<br>図書館アンケート(H27 年度予定)について                             |
| 第 3 回 | 3 月 3 日  | 平成 26 年度事業報告・分館視察(下久堅分館)  |

(5) 図書館協議会委員 10 名(平成 27 年度)

赤羽 隆	今村 智子	織田 真理子	竹内 恵子	中島 敬子
中村 千代子	林 武史	松島 タセ子	村澤 生悦	矢澤 朱美

## 5 利用案内

### (1) 中央図書館・地域館

- ① 開館時間 午前10時～午後6時  
 ※中央図書館は、木曜日(祝日を除く)のみ夜8時まで開館
- ② 休館日 毎週月曜日・毎月第4金曜日・年末年始(12/28～1/4)  
 ※祝日は県・上郷図書館のみ休館(中央は月曜以外の祝日は開館)
- ③ 館内閲覧 開館時間内は誰でも自由に閲覧できる
- ④ 館外貸出 飯田・下伊那地区に在住または通学、通勤している方  
 ※中央・地域館 1人10冊 分館 1人4冊 貸出期間 2週間

### (2) 分館

#### 【伊賀良分館】

火・水・日曜日：午後1時～5時  
 木・土曜日：午前10時～午後5時

#### 【松尾・竜丘分館】

水曜日：午後1時～5時  
 土曜日：午前10時～午後5時  
 日曜日：午後1時～5時

#### 【三穂分館】

水曜日：午前9時30分～11時30分  
 午後3時～5時  
 土曜日：午前10時～午後5時

#### 【山本分館】

水曜日：午後1時～5時  
 ※第1・3のみ午前10～12時も開館  
 土曜日：午前9時～午後5時  
 日曜日：午後1時～5時

#### 【羽場・丸山・東野・座光寺・下久堅

#### 上久堅・千代・龍江・川路分館】

水曜日：午後1時～5時(川路は2時～・千代は2時30分～)  
 土曜日：午前10時～午後5時

#### 【上村分館】

月～金曜日：午後3時～5時  
 土曜日：第2・4 午前10時～12時

#### 【南信濃分館】

月～金曜日：午後3時～5時  
 土曜日：午前10時～12時

(平成26年3月31日現在)

## 6 予算

### (1) 当初予算

(単位：千円)

内 訳	平成27年度当初	平成26年度当初	比 較
飯田市予算総額	43,460,000	45,920,000	△ 2,460,000
10款 教育費	3,630,571	5,111,113	△ 1,480,542
5項 社会教育費	1,214,665	1,807,173	△ 592,508
1目 社会教育総務費	15,117	538,507	△ 523,390
2目 青少年健全育成費	1,586	1,670	△ 84
3目 文化財保護費	80,091	156,186	△ 76,095
4目 公民館費	337,810	320,418	17,392
5目 図書館費	191,136	193,859	△ 2,723
6目 美術博物館費	246,080	257,510	△ 11,430
7目 文化会館費	275,383	276,601	△ 1,218
8目 歴史研究所費	67,462	62,422	5,040

## (2) 平成26年度決算額一覧

(款)10 教育費 (項)05 社会教育費 (目)05 図書館費 ※人件費を除く (単位:円)

細々目	細 節	中央	県	上 郷	分 館	計	25年度決算	前年度対比
図 書 購入費	消耗図書費	19,915,500	3,641,116	7,478,870	6,732,984	37,768,470	36,767,536	1,000,934
	備品図書費	599,206				599,206	600,162	△ 956
図書館 管 理 運営費	臨時職員賃金	21,725,656				21,725,656	22,470,620	△ 744,964
	旅費		2,240	27,760		30,000	0	30,000
	消耗品費	1,622,265	199,442	329,980		2,151,687	2,067,723	83,964
	燃料費		31,055	26,121	108,369	165,545	195,768	△ 30,223
	印刷製本費	100,116				100,116	98,595	1,521
	光熱水費	6,080,976	380,046	1,498,699	380,026	8,339,747	7,729,641	610,106
	修繕費	653,732	44,978	127,709	35,510	861,929	476,410	385,519
	通信運搬費	1,718,964	105,499	154,631	29,375	2,008,469	1,969,938	38,531
	手数料	51,122				51,122	33,335	17,787
	保険料	140,005				140,005	140,506	△ 501
	委託料	6,903,756				6,903,756	21,652,164	△ 14,748,408
	使用料 及び賃借料	1,996,900	14,300	242,806	45,360	2,299,366	2,286,427	12,939
	工事請負費	1,168,560		410,400	54,600	1,633,560	1,720,656	△ 87,096
	備品購入費	1,118,200				1,118,200	35,280	1,082,920
	負担金 (上郷駐車場)			98,000	9,342	107,342	174,000	△ 66,658
	公課費	32,800				32,800	6,600	26,200
図書館 事業費	委員等報酬	371,150				371,150	374,500	△ 3,350
	賃 金	1,357,500	419,230	418,720	15,352,891	17,548,341	17,860,370	△ 312,029
	報償費	446,682				446,682	335,977	110,705
	旅 費	74,508				74,508	121,266	△ 46,758
	燃料費	281,796				281,796	272,122	9,674
	保険料 (ボランティア)	24,000				24,000	24,600	△ 600
	委託料	1,027,349				1,027,349	954,720	72,629
負担金 補助及び交付金	70,700				70,700	70,700	0	
コンピュータシステム運営事業費	7,304,892				7,304,892	7,307,610	△ 2,718	
はじめまして絵本事業費	778,425				778,425	751,275	27,150	
ビジネス支援事業費	381,703				381,703	440,016	△ 58,313	
計	75,946,463	4,837,906	10,813,696	22,748,457	114,346,522	126,938,517	△ 12,591,995	

## 7 図書館貴重資料など

### (1) マイクロフィルム

資料名	巻数	資料名	巻数
南信新聞 M35.1.1～	112 巻	第一線 他	1 巻
信州合同新聞	10 巻	平沢文書	27 巻
南信州 ～H23.12	216 巻	飯田市広報他	1 巻
伊那公報	71 巻	下伊那青年他	2 巻
信濃大衆新聞	18 巻	信州青年他	1 巻
信濃時事新聞	20 巻	飯田通信	1 巻
信州日報 ～H23.12	171 巻	竜丘時報	1 巻
南信日報	23 巻	青年史資料 18 地区	71 巻
南信タイムズ	2 巻	青年運動資料(金箱)	8 巻
飯田日日新聞他	1 巻	伊藤大八資料	11 巻
週刊下伊那	2 巻	上郷青年会資料	40 巻
飯田ニュース	3 巻	上郷時報	4 巻
飯田毎日	4 巻	その他新聞	5 巻
飯田の新聞	8 巻	飯田文書	13 巻
信州音楽新聞他	1 巻	郷土雑誌	5 巻
南信時事	11 巻	下伊那連合青年団資料	23 巻
信陽新聞	3 巻	「伊那」 S27.8～S50.12	13 巻
新信州日報	3 巻	小林郊人俳句関係資料	6 巻
南信毎日新聞	1 巻		
森本資料	24 巻		
飯田町小史他	10 巻	平成 25 年度末累計	947 巻

### (2) デジタル資料

資料名	(欠号あり)
郷土新聞「南信州新聞」	昭 29～平 23.12 (H21～H24 年度作成)
〃 「信州日報」(「南信日報」含)	昭 23.6～平 24.12 (H22～H24 年度作成)
〃 「新信州日報」	昭 20.11～昭 22.9 (H22～H24 年度作成)
〃 「南信新聞」	明 35～昭 14.7 (H23・24 年度作成)
〃 「第一線」	大 12・13 (H24 年度作成)
〃 「飯田ニュース」	昭 6.8 (H24 年度作成)
〃 「南信時事」	昭 22～昭 29.9 (H24 年度作成)
〃 「南信タイムズ」	昭 29.7～昭 30.10 (H24 年度作成)
〃 「飯田の新聞」	昭 23.6～昭 29.10 (H24 年度作成)
〃 「下伊那青年」他	(H24 年度作成)
〃 「深山自由新聞」	明 15.3～明 38.3 (H25 年度作成)
〃 「伊那公報」	明 24.2～明 29.3 (H24・25 年度作成)
〃 「信濃時事新聞」	大 4.8～昭 14.7 (H25 年度作成)
〃 「信濃大衆新聞」	昭 6.7～昭和 14.7 (H25 年度作成)
〃 「飯田毎日新聞」	昭 10.11～昭 14.5 (H25 年度作成)
〃 「信州合同新聞」	昭 14.8～昭 17.4 (H25 年度作成)
〃 「上郷時報」「竜丘時報」等	
郷土雑誌「伊那」(戦前分)	昭 27.8～昭 50.12 (H22・25 年度作成)
〃 「あけぼの」等	153 誌

「下伊那教育」「組合製糸研究」等	16 誌	(H22・23 年度作成)
「学園飯田」	8 冊	(H24 年度作成)
郷土の書籍「伊那産業史」等	83 冊	(H25 年度作成)
森本資料（「政治と青年」含む）	172 件	(H25 年度作成)
小林郊人俳句関係資料	64 件	(H25 年度作成)
市岡家文書（書籍除く）	967 件	(H25 年度作成)
堀家蔵書（一部）	57 件	(H25 年度作成)

### (3) 特殊コレクション

#### ① 堀家所蔵古書 1,330 点(7,882 冊)

明治 34 年、飯田文庫が飯田藩主堀氏所蔵の和漢書を購入し、飯田図書館の基礎がつけられた。儒教、国史、中国史等がある。その後飯田図書館で収集した貴重資料、太宰春台の著書等も含まれている。和書については国書総目録（岩波書店刊）に掲載されているため、遠方からの利用者が多い。

#### ② 市岡家所蔵古書 古書 178 点 文書 1,004 点 軸物 6 点 標本 6 点

昭和 25 年、三重県津市 市岡勝太郎氏より飯田関係文書を委託され保管する。江戸時代の伊那谷三代官の一人であった市岡氏は、製糸、元結業の創始者であり、千村役所に勤めた。久々里旅日記や「雲彩寺所蔵古物之図」（写真のみ）等、博物関係の原資料がある。

#### ③ 村沢文庫 1,043 点

飯田市中央通り村沢武夫氏が、昭和 50 年代から亡くなるまで寄贈し続けた郷土資料類である。「伊那歌道史」の原資料となった歌人の短冊や、飯田藩の資料は貴重である

#### ④ 平沢文書 8,300 点(H15.7 飯田市美術博物館へ移管 H16.3 県宝に指定後歴史研究所へ移管、図書館はマイクロフィルム保管)

飯田市下久堅北原の庄屋平沢家に所蔵されていた近世文書である。昭和 43 年 10 月平沢清人氏から寄贈された。太閤朱印検地帳等地方文書として全国的にも、系統づけられている文書として貴重である。

#### ⑤ 飯田文書 243 点

飯田町、上飯田村（上飯田村の地図）の近世文書等。元和～慶応までの文書で「宿継要書留」等が含まれている。

#### ⑥ 森本資料

飯田市松尾新井の森本信也氏から昭和 51 年に寄贈された資料。大正、昭和にかけて国民精神作興会の下伊那支部の事務局をしていた森本州平氏が持っていた全国及び伊那谷の政治活動資料で、伊那谷の近代史をひもとく貴重な資料である。

#### ⑦ 日夏文庫 9,940 冊

飯田市名誉市民 日夏耿之介氏の所蔵されていた図書。日夏氏没後、昭和 56 年に図書館に移管された。洋書、和漢籍・雑誌・詩を中心に文学のものが多。

#### ⑧ 伊藤大八関係資料

飯田市伊賀良上殿岡出身の伊藤大八に送られた明治時代の政治家の手紙類。伊藤大八は、第 1 回衆議院選挙に自由党に属して当選。党の幹部として活躍した。中江兆民、原 敬等の直筆の手紙がある。

#### ⑨ 青年運動史関係資料

昭和 34 年「下伊那青年運動史」が発行され、その原資料となった各青年団の会報等が発行と同時に寄贈された。

#### ⑩ 鉄斎資料

飯田鉄斎愛好会から平成 2 年に寄贈された資料。図書、書、画、拓本がある。

- ⑪ 宮澤文庫 1,283 冊  
飯田へ大学を設立したいという希望を抱いていた、生田村出身の宮沢芳重さんが送り続けてきた図書、雑誌、哲学・数学・天文の図書等。
- ⑫ 正木文庫  
飯田出身、名古屋在住の郷土史家正木敬二氏が執筆するにあたり収集しまとめられた資料。スクラップ帳、生原稿、図書等約 240 点。追悼の会が飯田で行われた際、親族より図書館へ寄贈された。
- ⑬ 河竹文庫 71 冊  
飯田市山本出身で、河竹黙阿弥の長女糸女の養嗣子となった河竹繁俊（飯田市名誉市民）氏と、その次男で演劇研究者河竹登志夫氏の、演劇史・歌舞伎史の著書等。昭和 43 年に飯田市に寄贈された。
- ⑭ 竹村浪の人文庫 1,222 冊  
講師竹村浪の人が使っていた図書類と講談の台本（生原稿）641 冊。一般書 581 冊
- ⑮ 小林郊人文庫  
郷土俳壇史を著した俳人でもあり、昭和 25 年第 5 代図書館長となり伊那谷の郷土資料の収集、保存に尽力し郷土史継承に努めた。代表作『伊那の俳人』『伊那農民騒動史』はじめ四十数冊出版した。氏の蔵書及び俳句資料や丹念な新聞切り抜き資料（昭和 3～41 年）がある。
- ⑯ 木下農業関係資料  
飯田市高羽町木下誠氏から昭和 57 年に寄贈された農業関係資料。農業に関する県内で発行された農業雑誌、特に園芸に関するものが多い。
- ⑰ 横田文子資料  
昭和 11 年第 3 回芥川賞候補ともなった、知久町出身の女流文学者横田文子氏が創刊した「女人文芸」等の雑誌。平成 2 年遺族より寄贈された。その後岡島照子さんから関係者や関係雑誌の寄贈を受け、合わせて横田文子資料として保管している。
- ⑱ 古島文庫 757 冊  
主税町出身の元東京大学名誉教授で、日本を代表する農業史学者であり「古島史学」を築いた古島敏雄氏の著書等。平成 7 年没後、東大にあった蔵書の一部が飯田図書館に寄贈された。
- ⑲ 日下部文庫【上郷図書館所蔵】 2,207 冊  
郷土史家日下部新一氏が所蔵していた図書と資料で、遺族から寄贈された。資料は主として著作活動のために収集したものと思われ、スクラップ帳・生原稿を含む。生前寄贈された郷土雑誌も多数。
- ⑳ 松澤太郎文庫  
平成 20 年 4 月に寄贈された元市長松澤太郎氏の蔵書約 2,200 冊（雑誌含む）。河上肇全集、會津八一の全集と貴重な画集、夏目漱石及び森鴎外の全集など幅広い資料。
- ㉑ 高原日記コレクション【伊賀良学習交流センター所蔵】  
平成 20 年に寄贈された飯田市山本在住ジャーナリスト故高原富保氏の蔵書 704 冊。すべて作家等の日記のみを集めたコレクション。
- ㉒ 松尾亨庵史料  
昭和 63（1988）年に龍江の松尾家より飯田市立図書館に寄託された、松尾亨庵関係史料。内容は、医学・漢学漢詩関係刊本、医学・漢学関係手稿、写本、雑書等。
- ㉓ 清内路煙草資料  
清内路煙草を製造し販売した原澤喜之助（飯田町）関係の資料や書簡等 657 点を清内路の郷土史家桜井伴氏が収集、昭和 60 年当館に寄贈された。

④ 小林正之文庫【上郷図書館所蔵】

竜丘村（飯田市長野原）出身の早稲田大学名誉教授（西洋史学）小林正之氏の蔵書が没後に寄贈されたもの。歴史・社会科学分野を中心とした図書約1,300冊と雑誌約1,200冊。

⑤ 黒田文庫【上郷図書館所蔵】

大正時代から昭和30年代にかけて下黒田青年会が管理運営をしていた地域文庫で、下黒田北集会所に保管されていた主に戦前の出版物686冊が、上郷図書館へ寄贈された。

その他

「飯田市立中央図書館漢籍目録」資料、筒井文庫、木地師資料など



市岡文書 382 信州伊奈郡絵図



堀家蔵書 都名所図会



森本資料 「政治と青年」 第一号

8 利用状況  
(1)貸出冊数推移

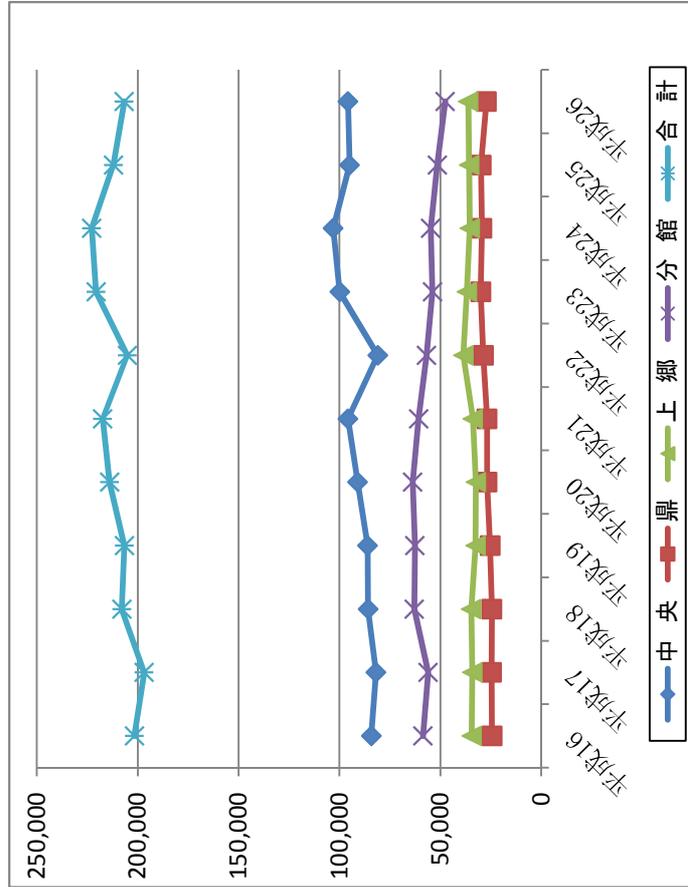
(単位 冊)

	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	前年比	5年前比
中央	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118	424,076	425,545	392,296	402,133	102.5%	89.1%
鼎	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959	132,310	124,288	123,206	115,594	93.8%	90.8%
上郷	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,060	170,366	152,173	137,150	140,330	143,840	102.5%	97.1%
3館計	635,287	640,545	659,209	662,975	695,075	726,836	682,443	708,559	686,983	655,832	661,567	100.9%	91.0%
羽場	20,699	18,154	16,714	17,577	18,918	16,398	14,170	13,540	13,305	11,013	9,598	87.2%	58.5%
丸山	7,326	8,480	8,761	8,201	7,350	5,868	5,520	5,143	5,105	4,196	2,169	51.7%	37.0%
東野	9,551	10,065	10,343	9,810	11,531	10,417	10,255	9,067	8,893	8,320	6,706	80.6%	64.4%
座光寺	8,425	7,886	7,884	7,099	6,624	7,258	8,157	7,782	7,679	6,760	5,454	80.7%	75.1%
松尾	22,795	20,422	19,291	18,909	19,505	18,957	17,559	16,438	18,222	16,605	16,845	101.4%	88.9%
下久堅	16,050	13,531	13,766	15,772	15,944	15,827	15,713	15,487	12,844	11,619	10,568	91.0%	66.8%
上久堅	4,381	3,557	6,526	6,591	4,559	4,850	5,174	3,094	4,057	4,565	2,413	52.9%	49.8%
千代	3,318	4,847	7,728	6,619	6,097	6,824	6,125	5,289	5,926	5,461	5,705	104.5%	83.6%
龍江	11,013	11,397	10,449	8,851	9,447	8,766	9,428	8,261	7,836	7,495	7,228	96.4%	82.5%
竜丘	31,511	30,223	29,428	31,483	30,409	33,200	29,871	29,150	28,428	26,389	25,292	95.8%	76.2%
川路	7,270	6,596	7,487	6,945	6,666	6,313	6,445	6,152	6,006	6,665	7,134	107.0%	113.0%
三穂	8,831	9,755	10,485	10,684	10,599	8,985	9,340	8,092	8,835	8,770	9,625	109.7%	107.1%
山本	9,518	9,403	11,051	11,511	12,471	12,273	11,151	9,307	11,672	11,114	10,857	97.7%	88.5%
伊賀良	23,478	24,074	37,884	40,420	46,459	42,474	37,926	38,388	39,727	37,695	32,686	86.7%	77.0%
上村			971	1,160	886	1,146	1,545	1,131	736	1,161	1,535	132.2%	133.9%
南信濃			2,188	5,363	4,853	3,788	3,677	3,546	3,052	2,805	3,010	107.3%	79.5%
分館計	184,166	178,390	200,956	206,995	212,318	203,344	192,056	179,867	182,323	170,633	156,825	91.9%	77.1%
合計	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,180	874,499	888,426	869,306	826,465	818,392	99.0%	88.0%

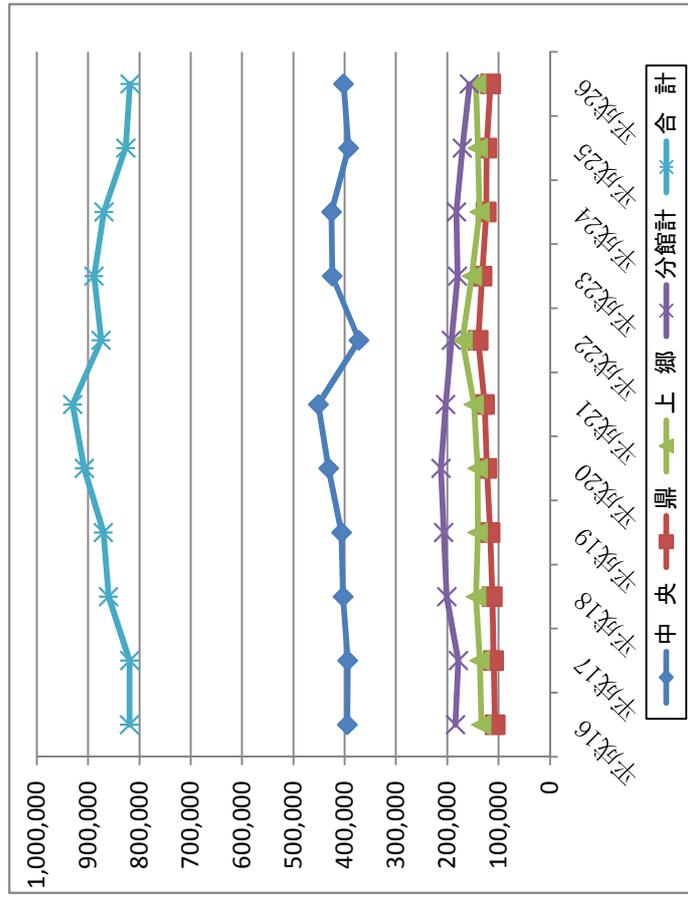
(2)利用者(貸出者)数推移

	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	前年比	5年前比
中央	84,223	81,942	85,787	86,065	91,024	95,748	81,009	99,865	103,133	94,961	95,798	100.9%	100.1%
県	24,361	24,639	24,462	25,364	26,836	26,906	28,720	30,019	29,453	29,813	27,174	91.1%	101.0%
上郷	34,425	34,108	34,684	32,560	32,342	33,922	38,576	36,804	35,431	35,734	36,109	101.0%	106.4%
分館	58,637	56,096	62,908	62,572	63,746	60,739	56,826	53,932	54,793	51,489	47,569	92.4%	78.3%
合計	201,646	196,785	207,841	206,561	213,948	217,315	205,131	220,620	222,810	211,997	206,650	97.5%	95.1%

貸出者数の推移



貸出冊数の推移



(3)平成 26 年度 利用が多かった本ベスト 10

	一般書	郷土資料	児童書	絵本
1	『祈りの幕が下りる時』 東野 圭吾／著	『菱田春草』 (別冊太陽／日本の こころ 222)	『番ねずみの ヤカちゃん』 リチャード・ウィルバー／作	『きゅつきゅつきゅつ』 林 明子／作
2	『虚ろな十字架』 東野 圭吾／著	『いいだ・南信州大好き』 安藤 隆一／編著	『ミッケ！』シリーズ ウォルター・ウィック／作	『くだもの』 平山 和子／作
3	『村上海賊の娘』 (上・下) 和田 竜／著	『飯田・上飯田の歴史』 (上・下) 飯田市歴史研究所／編	『エルマーのぼうけん』 ルース・スタイルス・ガネット／作	『がたんごとん がたんごとん』 安西 水丸／作
4	『銀翼のイカロス』 池井戸 潤／著	『みるよむまなぶ 飯田・下伊那の歴史』 飯田市歴史研究所／編	『かいけつゾロリ』シリーズ 原 ゆたか／作	『ころころころ』 元永 定正／作
5	『ホテルローヤル』 桜木 紫乃／著	『飯田線各駅停車』 水野 宏史／編・著	『エルマーとりゅう』 ルース・スタイルス・ガネット／作	『しろくまちゃんの ほっとけーき』 わかやま けん／絵
6	『舟を編む』 三浦 しをん／著	『消された飯田藩と 江戸幕府』 鈴川 博／著	『ポケモンをさがせ！』 (シリーズ) 相原 和典／画	『くっついた』 三浦 太郎／作・絵
7	『マスカレード・ ホテル』 東野 圭吾／著	『南信州の寺院』 「南信州の寺院」刊行 委員会／編	『黒田官兵衛』 加来 耕三／企画・構成	『どうぶつの おかあさん』 藪内 正幸／絵
8	『ロスジェネの逆襲』 池井戸 潤／著	『週刊JR全駅・全車両 基地 No.51・飯田駅 伊那市駅 大嵐駅ほ か』	『魔女カフェのしあわせ メニュー』 あんびる やすこ／作	『おにぎり』 平山 和子／絵
9	『海賊とよばれた男』 (上・下) 百田 尚樹／著	『飯田城ガイドブック 改訂版』 飯田市美術博物館／編	『昆虫の迷路』 香川 元太郎／作	『ととけっこう よがあげた』 ましませつこ／絵
10	『ペテロの葬列』 宮部 みゆき／著	『定本・伊那谷の城』 赤羽 篤／監修	『竹中半兵衛』 加来 耕三／企画・構成	『バムとケロの そらのたび』 島田 ゆか／作

#### (4)利用統計数値

中央・県・上郷・16分館含む

基礎数値（平成27年3月末日現在）

A:人口	104,284	B:蔵書冊数	770,109	C:受入冊数	30,055
D:購入冊数	25,857	E:個人貸出冊数	770,396	F:除籍冊数	14,642
G:図書購入費	38,705,949	H:図書館費	114,346,522	I:個人利用者数	202,081
J:開架図書冊数	468,451	K:個人登録者数	30,234	L:全館総貸出数	818,392
M:全予約件数	49,153				

中央・県・上郷（3館のみ）

N:予約件数	44,503	O:調査相談数	3,538	P:複写サービス	20,174
Q:職員数	22	R:司書有資格者数	20	S:3館総貸出数	661,567

開館日数（中央図書館291日 県図書館285日 上郷図書館284日 分館平均129日）

項目		26年度	25年度	25年度人口10～15万人規模の市平均
市民一人あたり蔵書冊数	B/A	7.38冊	7.19冊	3.62冊
〃 受入冊数	C/A	0.29冊	0.30冊	0.12冊
〃 貸出冊数	E/A	7.39冊	7.45冊	5.91冊
〃 図書購入費	G/A	371円	359円	233円
利用者一人1回あたりの貸出冊数	E/I	3.81冊	3.77冊	※10～15万人規模の市平均の図書購入費は24年度決算額
職員一人あたりの貸出冊数	S/Q	30,071冊	28,514冊	
蔵書回転率	L/B	106.3%	109.6%	
開架率	J/B	60.8%	61.4%	
利用者登録率	K/A	29.0%	26.5%	
司書率	R/Q	90.9%	95.7%	

#### ◆サービス効果

平成26年度購入図書平均単価×市民一人あたり貸出冊数－市民一人あたり図書館費

$$\begin{array}{rclclcl}
 G/D & \times & E/A & - & H/A & = & \text{サービス効果} \\
 1,497 \text{円} & \times & 7.4 \text{冊} & - & 1,384 \text{円} & = & 9,694 \text{円}
 \end{array}$$

## 10 図書館関係団体

### 「飯伊婦人文庫」（会員数 150 人）

#### ◆飯伊婦人文庫の歴史

昭和 25 年、県立図書館が館外貸出方式の一つとして始めた、本と母親とを子どもを通じて結ぶ制度は、その後県下各地に県 P T A 母親文庫として広がっていった。県南部の飯田下伊那地方においても、昭和 32 年飯田図書館配本所とし、婦人会と P T A の母親を中心に『飯田婦人文庫』・『飯伊母親文庫』の二つの団体が組織され正式に発足した。昭和 46 年 P T A 組織では子どもの卒業とともに会員も離れていってしまうことと、自主的参加による読書会を充実していきたいとの理由から、婦人会を中心とした組織の一本化をはかり、名称も『飯伊婦人文庫』となった。

読書は基本的には個人的な行為であるが、集団だから読める、みんなと一緒に学べるといった環境づくりをめざして、今日まで多くの活動と会員の育成を行ってきた。

#### ◆飯伊婦人文庫の活動

昭和 32 年の発足当時より 3 本の柱を活動の中心に据えてきた。3 本の柱とは『読むこと』、『書くこと』、『話し合うこと』である。この成果は毎年発行される『読書についての文集』や、各種読書会、他団体（豊橋読書サークル連絡会・中津川読書サークル連絡協議会など）との活発な交流などに現れている。これらの活動が評価され平成 4 年には飯田ムトス賞を、平成 10 年には野間読書推進賞を受賞した。

平成 9 年に出版した『みんなで読もう飯伊婦人文庫 40 年の歴史』は、婦人文庫の歩んできた道を多くの資料をもとにまとめてあり、飯田図書館の図書館史にもなっている。14 年 2 月には『つながりー聞き書き・70 人の女性に聞く読書と人生ー』を出版し、人の一生と読書の関係を聞き書きによりまとめることで、多くの読書の科学を獲得した。この出版の波及は高齢者学級や中学生との交流に発展した。これらの活動が図書館まつりの『中学生との読書会』に結実し、『高校生との読書会』へと発展していった。その後、働く市民のための『夜の読書会』に発展して、20 代～40 代男女の参加者が増え続けている。ここから歴史上初めての男性会員が誕生した。

飯田下伊那の各地で連綿と続けられてきた読書会を丹念に聞き書きし、3 人以上で読む読書会が人と人のつながりをより深め、質の高い感動を受け取り、それが生きる糧となってきたことを実証したのが平成 19 年 6 月に出版した『みんなとだから読めた～聞き書きによる飯田下伊那地方の読書会の歴史～』である。本をまとめる中で、声に出してみんなで読む「群読」の持つ意味を言葉化し、文学講座や中学校・公民館など様々な場で「群読」を取り入れながら、広めている。この本は読書界に大きな波紋を投げかけ、飯田市歴史研究所の歴研賞奨励賞を受賞した。平成 19 年に飯田下伊那読書会交流会が 50 年ぶりに開催され、飯田下伊那読書会連絡会に発展して、現在の活動に至っている。

図書館と開催する文学連続講座は 8 年目になった。市民の大人の文学に対する要求は大きく、年々市民の参加が増え、参加者の 3 分の 2 は市民となっている。現在は「自立をめざす 20 年史」の編纂に取り組み、「読書・人は考えることで人間になる」をテーマにしてすすめている。

### 朗読奉仕の会「声の輪」 (会員数 59 人)

視覚障がい者など読書に困難がある方々のための、書籍を録音した「声の本」を作成しているボランティアグループ。昭和 57 年より朗読奉仕ボランティアが中央図書館に立ち上がった。一年間の初心者講習を終了した後、朗読ボランティアとして続けていただける方に随時加わっていただく。飯田下伊那には約 1,000 人の視覚障がい者があり、内約 100 人の方が「声の本」を利用している。その方々の期待に応えるべく、平成 23 年から DAISY (ディジー) 図書 (CD 版) の作成を中心に以下の活動を行っている。

**「声の本」の作成：**〔DAISY 図書・テープ図書、の作成。年間約 100 タイトルの作品を作成し現在までに 3,500 タイトルを超えている。DAISY 図書も平成 11 年より取り組みが始められ、現在までに 900 弱のタイトルが出来上がっている。〕

**月刊テープの作成と貸出：**〔視覚障がい者と会員との情報交換誌として毎月「声の輪だより」の CD 版及びテープ (46 分 1 巻) 版を作成し、約 70 人の方に郵送による貸出を行っている。〕

**利用者との交流会：**〔利用者との意見交換会と相互親睦をはかるための交流忘年会を毎年開催している〕。

**朗読技術向上：**〔定例学習会 (毎月第 4 水曜日、第 2 火曜日) の実施と NHK セミナーへの参加と、常に技術向上のための取り組みを行っている。〕

質の高い声の本の作成と提供は、声の輪の方々の技術向上へのたゆまぬ努力と、リクエストに対する迅速な対応によって支えられている。また、単に読み手と聞き手の関係だけではなく、視覚障がい者の方々の心の支えともなっている。図書館障がい者サービスを 30 年以上にわたり支えてきた声の輪は、飯田市立図書館が県下に誇れるボランティアグループである。

### 「文章講座同窓会」 (会員数 同窓会 52 人)

文章講座は、「文章を書くことと読書することとは深いつながりがある。読みを深めるには書くことは欠かせない。また文章を綴るには多くの本を読むことにもなる。読書会があるのだから文章を書く勉強会も必要ではないか」とのかねてからの願いから、“書くことの勉強会”として昭和 57 年 1 月開講した。

まず、第 1 期は新聞社の論説委員をしていた小原謙一氏を講師に迎え、文章についての講義及び作文の添削を中心に行われた。百余名の受講生は毎回レポートを提出し、講師の添削・講評を受け、さらに受講生の作文の中から講義のテキストとして取りあげた作品が地元紙に掲載されるなど活動が定着していった。

平成 9 年の第 16 期より元旭ヶ丘中学校校長の清水貫司氏が講師を務められ、平成 24 年の第 30 期閉講と共に勇退された。

平成 25 年の第 31 期より元高森中学校校長の鎌倉貞男氏を 3 代目の講師に迎え、平成 27 年 5 月に第 33 期が開講したところである。

この文章講座受講者は、講座終了後も各期で自主的なグループをつくり、書くことの相互学習を続けている。このグループをまとめたものを同窓会といい、この同窓会が主体的に取り組んで編集・発行している作品集として『くらしの中から』がある。

### 「子どもの本研究会」 (会員数 13 人)

昭和 45 年から東京、大阪で開催された「日本子どもの本研究会」主催の全国児童文化講座がきっかけとなり、子どもの読書への取り組みに触発された当時の図書館職員が中心となって、学校の読書教育担当者などの協力を得て 47 年 7 月に発会された。当時会費 30 円で会の名称も「飯田子どもの本研究会」とし、学校や保育園・幼稚園の先生、母親など 60 名の会員によってスタートした。読書についての横のつながりができたのはこの時が初めてで、当時としては画期的なことであった。

子どもに本を手渡したいとの思いは、各地に文庫の設立をうながすきっかけとなり、その後、23 もの文庫が市内にできた。文庫の活動はやがて図書館の分館整備の動きへとつながっていった。

また、作品研究、作家研究はやがて作家本人から話を聞いてみたいという欲求を生み、子どもたちが本と出会うにはまず周りの大人が本の素晴らしさを知ることが大切、との意図から「子どもの本の学校」が図書館・子どもの本研究会・地域文庫連絡会共催で開設された。

地域の児童文化にも貢献してきた。子どものための総合文化祭をとの願いから、「飯田子ども劇場」や市の社会教育課とともに立ち上げた「飯田子どもまつり」は、現在まで 30 回以上、回数を重ねながら続けられている。

現在も、会員の自ら学ぶ姿勢と子どもの本に対する会員相互の取り組みは意欲的で変わっていない。その時代時代の中で、地域の読書文化を向上させようと図書館とともに歩んできた。それらの活動は外部からも高く評価され、15 年 4 月には文部科学大臣賞を受賞し、会員相互の大きな励みとなった。

さらに、平成 11 年 5 月より新たな一歩として、会員有志により読みきかせのボランティア活動を開始し、そのための勉強会も行なっていたが、平成 22 年からボランティア活動グループは独自性を重視して独立して活動することとなった。また、一年間の活動記録としての文集を継続的に刊行している。そして子どもの本についての講演会を会独自で年に数回開催したりするなど、会の活動の充実や地域の読書文化の普及に努めている。

### 「読みきかせボランティアの会」 (会員数 10 グループ 99 人)

平成 13・14 年度の 2 回、図書館の事業で読みきかせボランティア養成のための講習会を行った。その後平成 15 年 7 月に図書館の呼びかけにより、市内で読みきかせボランティア活動を行っているグループと講習会の受講者が立ち上げたグループとで「読みきかせボランティアの会」を発足させた。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみたい、子どもと本との橋渡しのお手伝いをしたいと願う読みきかせボランティアグループの集まりであるこの会は、他グループと情報を交換したり、研修会を行ったりしている。現在の登録グループは、「読みきかせグループ おはなしのたまご」「下久堅おはなしサークル」「まじっくぼけっと」「丸山おはなしの会」「モン・クール」「おはなしくらぶ おおきな木」「はっぴい・ふれぜんと」「松尾おはなしひろば」「たんぼぼの会」「はじめの一歩」の 10 グループである。

なお図書館では、ひとりでも多くの子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために、この会に登録しているボランティアグループのリストを作成し、要請に応じて紹介している。

### 「鼎声のボランティアグループ」 (会員数 16 名)

視覚障がいのある方々に聞いていただくため、「新聞コラム」(一週間分の新聞記事より抜粋)、飯田市議会だより、広報かなえ・公民館報かなえ、社協情報「おマメで」を録音しているボランティアグループ。平成 27 年 4 月現在、利用者数 9 名。

昭和 56 年、国際障害者年を契機に鼎町が募集して声のボランティアグループが発足、飯田市との合併を機に、鼎図書館を拠点に活動を行うようになった。当初は飯田下伊那の史跡を訪ねる「史跡めぐり」を行い、その記録を図書にしたものをテープに録音して鼎地区内の視覚障がい者の方に郵送していたが、利用者の方の要望等により、現在は上記の録音を行っている。録音のほか、利用者の方との交流会、技術向上のための研修会、デジタル録音の研修会等を行っている。

### 「おむすびの会」(手づくり絵本の会) (会員数 14 人)

1981 年(昭和 56 年)夏、我が子の成長記録やつぶやきを書きとめておきたい、また自分自身の絵本を作りたい…との願いから、母親たちが図書館の協力を得て「飯田手づくり絵本の会」を立ち上げた。10 年後に心を込めてにぎるぬくもりあるおむすびにあやかって、「おむすびの会」と名称を変えた。

県内各地の手づくり絵本の会が、共に成長することを願い、横のつながりを持とうと長野県内連絡会を発足させ、その後愛知県、岐阜県へと広がり、現在では 19 の手づくり絵本の会が三県連絡会として活動している。その大きな事業の一つである「手づくり絵本巡回展」も 26 回を数え、今年も 15 会場に 200 冊以上の手作り絵本が展示される。一冊一冊手にとって読むことのできる巡回展は、手づくり絵本に直に触れてもらう大変良い機会である。

また、各地区の乳幼児・母親・高齢者学級や、小・中・高校などでも、手づくり絵本の普及に努めている。製本の方法や、表現の技法、作るための心構えやテーマの持ち方など指導に出向くことが増えている。もっと多くの人たちに世界に一冊だけの手づくり絵本の良さを知ってもらいたいと活動している。今後も子どものため、自分自身のために手づくり絵本を作りたいという方々の輪を広げていきたい。

### 「紅まんさく」(飯田創作童話の会) (会員数 8 人)

1983 年(昭和 58 年)3 月に中央図書館の講座の一つとして発足した創作童話研究会が当会の前身である。その当時開講されていた「子どもの本の学校」(著名童話作家の講演・講義)で学ぶと共に、自分でも童話を書いてみたいと希望する 80 人余が集まり始められた。

しかし、回を重ねるごとに書くことの難しさから、40 人・・20 人・・と減少し、自主運営するころには 15 人ほどになっていた。会の名称も《紅まんさく》(飯田創作童話の会)と改め、現在にいたっている。

発足後 8 年目に『紅まんさく、童話集 1』を 16 年目に『同 2』を出版した。毎月第 3 木曜日に例会を持ち、作品を発表しあっている。——作品には厳しく、人にはやさしく——をモットーとし、刺激し合いながらもよい仲間作りを実践している。

発足 27 年目にあたる平成 22 年 3 月に『紅まんさく、童話集 3』を出版した。